

武蔵丘 高等学校 令和8年度（2学年用） 教科

国語 科目 論理国語

教科： 国語

科目： 論理国語

単位数： 1 単位

対象学年組： 第 2 学年 1 組～ 8 組 必修

使用教科書： （ 東京書籍『精選論理国語』 ）

使用教材： いいずな書店『TOP2500 三訂版』、
数研出版『改訂版 評論速読トレーニング 1500』、

教科 国語

の目標：

【知識及び技能】 生涯にわたる社会生活に必要な国語について、その特質を理解し適切に使うことができるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】 生涯にわたる社会生活における他者との関わりの中で伝え合う力を高め、思考力や想像力を伸ばす。

【学びに向かう力、人間性等】 言葉のもつ価値への認識を深めるとともに、言語感覚を磨き、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもつ、生涯にわたり国語を尊重してその能力の向上を図る態度を養う。

科目 論理国語

の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
実社会に必要な国語の知識や技能を身に付けるようにする。	論理的、批判的に考える力を伸ばすとともに、創造的に考える力を養い、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。	言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	領域			評価規準	知	思	態	配当 時数
		話	書	読					
<p>発見への誘い</p> <p>【知識及び技能】 ・本文中に登場する主な常用漢字や語句・語彙、また文章の効果的な組立て方や接続の仕方について、その構造や特色などを理解する。 ・主張と論拠、個別の情報と一般化された情報、推論の仕方など、情報の扱い方について理解する。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 ・「学習の手引き」の課題について、本文の要旨を的確に伝え、読み手の理解が得られるよう、文章の構成や展開、表現の仕方を工夫する。 ・対比による論理構成を把握し、読解する。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 ・情報と情報を対比させながら展開する評論を粘り強く読み、学習課題に沿って論理の展開を分析しようとする。 ・論理の展開を粘り強く分析し、今までの学習を生かして要旨をまとめようとする。</p>	<p>・文章を分析的に読み、対比構造を用いた論理の展開について理解する。 ・主張と論拠、個別と一般化など、文章に含まれている情報を相互に関係づけながら、内容・文章の構成や論理の展開を的確に捉え、要旨を把握する。 ・事柄が的確に伝わるように、根拠の示し方や説明の仕方などの表現の仕方を工夫する。 ・調べたことを整理して、説明資料にまとめる。 ・常用漢字を文や文章の中で活用する。 ・語句の量を増やし、語彙を豊かにする。 ・文章の効果的な接続の仕方を理解する。 ・読書の意義と効用を理解する。 ・教材…「いつもそばに本があった」「ミロのビーナス」等 ・一人1台端末の活用 等</p>	○	○	○	<p>【知識及び技能】 ・本文中に登場する主な常用漢字や語句・語彙、また文章の効果的な組立て方や接続の仕方について、その構造や特色などを理解しているか。 ・主張と論拠、個別の情報と一般化された情報、推論の仕方など、情報の扱い方について理解しているか。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 ・本文の要旨を的確に伝え、読み手の理解が得られるよう、文章の構成や展開、表現の仕方を工夫しているか。 ・対比による論理構成を把握し、筆者の論を理解しているか。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 ・情報と情報を対比させながら展開する評論を粘り強く読み、学習課題に沿って論理の展開を分析しようとしているか。 ・論理の展開を粘り強く分析し、今までの学習を生かして要旨をまとめようとしているか。</p>	○	○	○	6
<p>言語と認識</p> <p>【知識及び技能】 ・本文中に登場する主な常用漢字や語句・語彙、また文章の効果的な組立て方や接続の仕方について、その構造や特色などを理解する。 ・個別の情報と一般化された情報、推論の仕方など、情報の扱い方について理解する。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 ・「活動の手引き」の課題について、本文の要旨を的確に伝え、読み手の理解が得られるよう、文章の構成や展開、表現の仕方を工夫する。 ・主張（抽象）と具体例の関係を把握し、筆者の考えを理解する。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 ・具体例を示しながら展開する評論を粘り強く読み、学習課題に沿って論理の展開を分析する。 ・論理の展開を粘り強く分析し、今までの学習を生かして要旨をまとめる。</p>	<p>・具体（例示）と抽象（意見）の関係を整理して論理構成を把握し、筆者が主張する言語の性質を理解する。 ・主張と論拠、個別と一般化など、文章に含まれている情報を相互に関係づけながら、内容・文章の構成や論理の展開を的確に捉え、要旨を把握する。 ・事柄が的確に伝わるように、表現の仕方を工夫する。 ・主張と論拠、個別と一般化など、情報と情報との関係を理解する。 ・常用漢字を文や文章の中で活用する。 ・語句の量を増やし、語彙を豊かにする。 ・文章の効果的な接続の仕方を理解する。 ・読書の意義と効用を理解する。 ・教材…「相手依存の自己規定」、「科学的『発見』とは」等 ・一人1台端末の活用 等</p>	○	○	○	<p>【知識及び技能】 ・本文中に登場する主な常用漢字や語句・語彙、また文章の効果的な組立て方や接続の仕方について、その構造や特色などを理解しているか。 ・個別の情報と一般化された情報、推論の仕方など、情報の扱い方について理解しているか。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 ・「活動の手引き」の課題について、本文の要旨を的確に伝え、読み手の理解が得られるよう、文章の構成や展開、表現の仕方を工夫しているか。 ・主張（抽象）と具体例の関係を把握し、筆者の考えを理解しているか。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 ・具体例を示しながら展開する評論を粘り強く読み、学習課題に沿って論理の展開を分析しようとしているか。 ・論理の展開を粘り強く分析し、今までの学習を生かして要旨をまとめようとしているか。</p>	○	○	○	7
定期査定						○	○		1

武蔵丘 高等学校 令和8年度（2学年用）教科

国語 科目 古典探究

教科：国語

科目：古典探究

単位数：3 単位

対象学年組：第 2 学年 1 組～ 6 組 の中の、文系選択者

使用教科書：第一学習社『標準 古典探究』

使用教材：『九訂版 体系古典文法』数研出版 『新明説漢文』尚文出版 『リテラ速読レッスン古文Vol.1』文英堂
『わかる・読める・解ける key&point古文単語330』いわずな書店 『LT古文1』浜島書店

教科 国語

の目標：

- 【知識及び技能】生涯にわたる社会生活に必要な国語について、その特質を理解し適切に使うことができるようにする。
- 【思考力、判断力、表現力等】生涯にわたる社会生活における他者との関わりの中で伝え合う力を高め、思考力や想像力を伸ばす。
- 【学びに向かう力、人間性等】言葉のもつ価値への認識を深めるとともに、言語感覚を磨き、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、生涯にわたり国語を尊重してその能力の向上を図る態度を養う。

科目 古典探究

の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に対する理解を深めることができるようにする。	論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、先人のものの見方、感じ方、考え方との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。	言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって古典に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	領域			評価規準	知	思	態	配 当 時 数
		語 ・ 聞	書	読					
<p>古典文学 説話</p> <p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> 本文中に登場する、我が国の言語文化に特徴的な語句・語彙の文化的背景を理解し、語感を磨き語彙を豊かにする。 古典を読むために必要な文語のきまりや古典特有の表現、時間の経過などによる言葉の変化について理解を深める。 <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> 古典の文章に慣れるとともに、現代に通じる話のおもしろさや人間描写の巧みさを理解する。 説話という文章の種類を踏まえて、内容や展開を的確に捉え、作品に表れているもの見方や考え方を捉え、内容を解釈する。 <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> 積極的に説話を読み味わい、互いに話のおもしろさを伝え合う。 	<ul style="list-style-type: none"> 現代に通じる話のおもしろさや人間描写の巧みさを知る。 説話という文章の種類を踏まえて、内容や展開を的確に捉える。 作品に表れているもの見方や考え方を捉え、内容を解釈する。 語句の量を増やし、語彙を豊かにする。 主として古今異義語について、理解を深める。 <p>・教材 古文に親しむ 説話「沙石集」「宇治拾遺物語」「十訓抄」</p> <p>・一人1台端末の活用 等</p>	○			<p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> 本文中に登場する、我が国の言語文化に特徴的な語句・語彙の文化的背景を理解し、語感を磨き語彙を豊かにしている。 古典を読むために必要な文語のきまりや古典特有の表現、時間の経過などによる言葉の変化について理解を深めている。 <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> 古典の文章に慣れるとともに、現代に通じる話のおもしろさや人間描写の巧みさを理解している。 説話という文章の種類を踏まえて、内容や展開を的確に捉え、作品に表れているもの見方や考え方を捉え、内容を解釈している。 <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> 積極的に説話を読み味わい、互いに話のおもしろさを伝え合おうとしている。 	○	○	○	25
<p>訓読に親しむ</p> <p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> 我が国の言語文化に特徴的な語句の量を増し、語感を磨き語彙を豊かにする。 古典の世界に親しむために、古典を読むために必要な訓読のきまり、古典特有の表現などについて理解を深めている。 <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> 漢文を訓読するための基礎知識として、返り点の種類と使い方、助字のはたらきと意味、再読文字の種類と読み方を習得する。 <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> これからの学習に見通しをもって、漢文訓読の基礎知識を積極的に身につける。 	<ul style="list-style-type: none"> 漢文を訓読するための基礎知識として、返り点の種類と使い方に習熟する。 漢文を訓読するための基礎知識として、助字のはたらきと意味を習熟する。 漢文を訓読するための基礎知識として、再読文字の種類と読み方を習熟する。 故事成語や格言に多く触れることにより、語句の量を増やし、語彙を豊かにする。 我が国の文化と外国の文化との関係について理解する。 訓読のきまりを理解する。 <p>・教材 漢文に親しむ 故事成語「朝三暮四」「漁夫利」「畏饑頭」</p> <p>・一人1台端末の活用 等</p>		○		<p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> 我が国の言語文化に特徴的な語句の量を増し、語感を磨き語彙を豊かにする。 古典の世界に親しむために、古典を読むために必要な訓読のきまり、古典特有の表現などについて理解を深めている。 <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> 漢文を訓読するための基礎知識として、返り点の種類と使い方、助字のはたらきと意味、再読文字の種類と読み方を習得する。 <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> これからの学習に見通しをもって、漢文訓読の基礎知識を積極的に身につける。 	○	○	○	16
定期考査						○	○		1

年間授業計画

武蔵丘 高等学校 令和8年度（2 学年用）

教科 地歴 科目 日本史探究

教科：教科 地歴 科目：日本史探究

単位数：3 単位

対象学年組：第 2 学年 選択授業

使用教科書：詳説日本史（山川出版社）

教科 教科 地歴 の目標：

【知識及び技能】事実を正しく理解し、思考のための基礎的な知識を身に着ける。

【思考力、判断力、表現力等】身に着けた知識をもとに、資料等の情報を分析し、考察・表現する。

【学びに向かう力、人間性等】授業に積極的に参加し、有意義な時間にしようとする。また、課題にきちんと取り組む。

科目 日本史探究 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
日本の歴史の大きな枠組みと展開に関わる諸事象について、地理的条件や世界の歴史と関連づけながら理解し、諸資料から日本の歴史に関するさまざまな情報を適切に得ていく技能を身につける。	日本の歴史の大きな枠組みと展開に関わる事象の意味や特色などを、時期や年代、現代世界とのつながりなどに着目して、多面的・多角的に考察したり、歴史に見られる課題を把握し解決したりする力や、考察したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。	世界の歴史の大きな枠組みと展開に関わる諸事象について、よりよい社会の実現に向けて課題を主体的に探究しようとする態度を養い、多面的・多角的な考察や深い理解を通して、歴史や文化を尊重することの大切さについて学ぶ。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数	
<ul style="list-style-type: none"> 旧石器文化から縄文文化への変化、弥生文化の成立などを基に、黎明期の日本列島の歴史的環境と文化の形成、原始社会の特色を理解させる。 自然環境と人間の生活の関わり、中国大陸・朝鮮半島などアジア及び太平洋地域との関係、狩猟採集社会から農耕社会への変化などに着目して、環境への適応と文化の形成について、多面的・多角的に考察し、表現させる。 黎明期の日本列島の変化に着目して、原始社会の特色について多面的・多角的に考察し、時代を通観する問いを表現させる。 	<ul style="list-style-type: none"> 日本文化のあけぼの 日本列島最古の文化 縄文時代の社会と文化 弥生時代の社会と文化 	知・技 旧石器文化から縄文文化への変化、弥生文化の成立などを基に、黎明期の日本列島の歴史的環境と文化の形成、原始社会の特色を理解している。	○	○	○	3	
		思・判・表 黎明期の日本列島の変化に着目し、原始社会の特色について多角的・多面的に考察し、表現している。					
		主体性 左記の学習内容について、資料を比較・検討し、多面的・多角的な視点で考察し、課題を意欲的に解決しようとしている。					
<ul style="list-style-type: none"> 国家の形成と古墳文化の成立過程などを基に、古代の政治・社会や文化の特色を理解させる。 中国大陸、朝鮮半島との関係と政治や文化への影響などに着目して、主題を設定し、小国の形成と連合、古代の国家の形成過程について多角的・多面的に考察し、表現させる。 	<ul style="list-style-type: none"> 小国の分立と邪馬台国 古墳の出現とヤマト政権の成立 大和政権の展開と統治の進展 古墳時代の生活と文化 	知・技 国家の形成と古墳文化の成立過程などを基に、古代の政治・社会や文化の特色を理解している。	○	○	○	3	
		思・判・表 中国大陸・朝鮮半島との関係と政治や文化への影響などに着目して、小国の形成と連合、古代国家の形成過程について、多角的・多面的に考察し、表現している。					
		主体性 左記の学習内容について、資料を比較・検討し、多面的・多角的な視点で考察し、課題を意欲的に解決しようとしている。					
<ul style="list-style-type: none"> 律令体制の成立過程と諸文化の形成などを基に、古代の政治・社会や文化の特色を理解させる。 中国大陸・朝鮮半島との関係、隋・唐など中国王朝との関係と政治や文化への影響などに着目して、主題を設定し、古代国家の形成過程について、事象の意味や意義、関係性などを多面的・多角的に考察し、歴史に関わる諸事象の解決や歴史の面期などを根拠を示して表現させる。 	<ul style="list-style-type: none"> 古代国家の形成 飛鳥文化・白鳳文化 律令制度 奈良時代の政治 天平文化 	知・技 律令体制の成立過程と諸文化の形成などを基に、古代の政治・社会や文化の特色を理解している。	○	○	○	4	
		思・判・表 中国大陸・朝鮮半島との関係と政治や文化への影響などに着目して、古代国家の形成過程や律令国家形成期の特徴について、多角的・多面的に考察し、表現している。					
		主体性 左記の学習内容について、資料を比較・検討し、多面的・多角的な視点で考察し、課題を意欲的に解決しようとしている。					
1 学期	<ul style="list-style-type: none"> 貴族政治の展開、平安期の文化、地方支配の変化や武士の出現などを基に、律令制の再編と変容、古代社会と文化の変容を理解させる。 地方の諸勢力の成長と影響、東アジアとの関係の変化、社会の変 	<ul style="list-style-type: none"> 律令体制再編期の政治と社会 摂関政治の成立と支配体制の転換 国風文化 	知・技 貴族政治の展開・平安期の文化・地方支配の変化や武士の出現などを基に、律令体制の再編と変容、古代の社会と文化の変容を理解している。				

<p>化と文化との関係などに着目して、主題を設定し、古代の国家・社会の変容について、事象の意味や意義、関係性などを多面的・多角的に考察し、歴史に関わる諸事象の解釈や歴史の画期などを根拠を示して表現させる。</p>		<p>思・判・表 地方の諸勢力の成長と影響、東アジアとの関係の変化、社会の変化と文化との関係などに着目して、主題を設定し、古代の国家・社会の変容について、事象の意味や意義、関係性などを多面的・多角的に考察し、表現している。</p> <p>主体性 左記の学習内容について、資料を比較・検討し、多面的・多角的な視点で考察し、課題を意欲的に解決しようとしている。</p>	○	○	○	4
<p>1学期中間考査</p>			○	○		1
<p>・貴族政治の変容と武士の政治進出、土地支配の変容などを基に、古代から中世への時代の転換を理解させる。 ・権力の主体の変化、東アジアとの関わりなどに着目して、古代から中世の国家・社会の変容を多面的・多角的に考察し、表現させる。 ・時代の転換に着目して、中世の特色について多面的・多角的に考察し、時代を通観する問いを表現させる。</p>	<p>・荘園公領制の成立と院政 ・鎌倉幕府の成立と朝廷 ・中世に生きる人々</p>	<p>知・技 貴族政治の変容と武士の政治進出、土地支配の変容などを基に、古代から中世への時代の転換を理解している。</p> <p>思・判・表 権力の主体の変化、東アジアとの関わりなどに着目して、古代から中世の国家・社会の変容を考察し、表現している。</p> <p>主体性 左記の学習内容について、資料を比較・検討し、多面的・多角的な視点で考察し、課題を意欲的に解決しようとしている。</p>	○	○	○	5
<p>・武家政権の成立と展開、産業の発達、宗教や文化の展開などを基に、武家政権の伸張、社会や文化の特色を理解させる。 ・公武関係の変化、宋・元（モンゴル帝国）などユーラシアとの交流と経済や文化への影響などに着目して、主題を設定し、中世の国家・社会の展開について、事象の意味や意義、関係性などを多面的・多角的に考察し、歴史に関わる諸事象の解釈や歴史の画期などを根拠を示して表現させる。</p>	<p>・蒙古襲来と幕府の衰退 ・鎌倉文化 ・南北朝の動乱</p>	<p>知・技 左記の学習内容について正しく理解している。</p> <p>思・判・表 左記の学習内容について、資料を比較・検討し、多面的・多角的な視点で考察し、学んだ知識を活用しながら思考・表現できている。</p> <p>主体性 左記の学習内容について、資料を比較・検討し、多面的・多角的な視点で考察し、課題を意欲的に解決しようとしている。</p>	○	○	○	6
<p>1学期期末考査</p>			○	○		1
<p>・武家政権の変容、日明貿易の展開と琉球王国の成立、村落や都市の自立、多様な文化の形成や融合などを基に、地域権力の成長、社会の変容と文化の特色を理解させる。 ・社会や経済の変化とその影響、東アジアの国際情勢の変化とその影響、地域の多様性、社会の変化と文化との関係などに着目して、主題を設定し、中世の国家・社会の変容について、事象の意味や意義、関係性などを多面的・多角的に考察し、歴史に関わる諸事象の解釈や歴史の画期などを根拠を示して表現させる。</p>	<p>・室町幕府の政治と外交 ・室町社会の展開と応仁の乱 ・室町文化 ・戦国大名の分国経営</p>	<p>知・技 左記の学習内容について正しく理解している。</p> <p>思・判・表 左記の学習内容について、資料を比較・検討し、多面的・多角的な視点で考察し、学んだ知識を活用しながら思考・表現できている。</p> <p>主体性 左記の学習内容について、資料を比較・検討し、多面的・多角的な視点で考察し、課題を意欲的に解決しようとしている。</p>	○	○	○	3
<p>・織豊政権の政治・経済政策、貿易や対外関係などを基に、中世から近世への時代の転換を理解させる。 ・村落や都市の支配の変化、アジア各地やヨーロッパ諸国との交流の影響などに着目して、中世から近世の国家・社会の変容を多面的・多角的に考察し、表現させる。 ・時代の転換に着目して、近世の特色について多面的・多角的に考察し、時代を通観する問いを表現させる。</p>	<p>・織豊政権 ・天下統一の完成 ・近世成り立期の文化</p>	<p>知・技 左記の学習内容について正しく理解している。</p> <p>思・判・表 左記の学習内容について、資料を比較・検討し、多面的・多角的な視点で考察し、学んだ知識を活用しながら思考・表現できている。</p> <p>主体性 左記の学習内容について、資料を比較・検討し、多面的・多角的な視点で考察し、課題を意欲的に解決しようとしている。</p>	○	○	○	3
<p>法や制度による支配秩序の形成と身分制、貿易の統制と対外関係、技術の向上と開発の進展、学問・文化の発展などに着目して、</p>	<p>・幕藩体制の成立 ・貿易の統制と対外関係 ・近世社会の仕組み</p>	<p>知 左記の学習内容について正しく理解して</p>				

2 学 期	<p>又しの発展などを基に、幕藩体制の確立、近世の社会と文化の特色を理解させる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・織豊政権との類似と相違、アジアの国際情勢の変化、交通・流通の発達、都市の発達と文化の担い手との関係、社会・経済の仕組みの変化などに着目して、主題を設定し、近世の国家・社会の展開について、事象の意味や意義、関係性などを多面的・多角的に考察し、歴史に関わる諸事象の解釈や歴史の画期などを根拠を示して表現させる。 		技	いる。					
			思・判・表	左記の学習内容について、資料を比較・検討し、多面的・多角的な視点で考察し、学んだ知識を活用しながら思考・表現できている。	○	○	○	4	
			主体性	左記の学習内容について、資料を比較・検討し、多面的・多角的な視点で考察し、課題を意欲的に解決しようとしている。					
	<ul style="list-style-type: none"> ・産業の発達、飢饉や一揆の発生、幕府政治の動揺と諸藩の動向、学問・思想の展開、庶民の生活と文化などを基に、幕藩体制の変容、近世の庶民の生活と文化の特色、近代化の基盤の形成を理解させる。 ・社会・経済の仕組みの変化、幕府や諸藩の政策の変化、国際情勢の変化と影響、政治・経済と文化との関係などに着目して、主題を設定し、近世の国家・社会の変容について、事象の意味や意義、関係性などを多面的・多角的に考察し、歴史に関わる諸事象の解釈や歴史の画期などを根拠を示して表現させる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・幕府政治の展開 ・経済の発展 ・元禄文化と学芸の発展 	知・技	左記の学習内容について正しく理解している。					
			思・判・表	左記の学習内容について、資料を比較・検討し、多面的・多角的な視点で考察し、学んだ知識を活用しながら思考・表現できている。	○	○	○	4	
			主体性	左記の学習内容について、資料を比較・検討し、多面的・多角的な視点で考察し、課題を意欲的に解決しようとしている。					
	2 学期中間考査				○	○		1	
	<ul style="list-style-type: none"> ・対外政策の変容と開国、幕藩体制の崩壊と新政権の成立などを基に、近世から近代への時代の時代の転換を理解させる。 ・欧米諸国の進出によるアジア諸国の変化、政治・経済の変化と思想への影響などに着目して、近世から近代の国家・社会の変容を多面的・多角的に考察し、表現させる。 ・時代の転換に着目して、近代の特色について多面的・多角的に考察し、時代を通観する問いを表現させる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・幕藩体制の動揺と幕政改革 ・欧米列強の接近と天保の改革 ・近世文化の成熟と変容 ・開国から倒幕へ 	知・技	左記の学習内容について正しく理解している。					
			思・判・表	左記の学習内容について、資料を比較・検討し、多面的・多角的な視点で考察し、学んだ知識を活用しながら思考・表現できている。	○	○	○	5	
			主体性	左記の学習内容について、資料を比較・検討し、多面的・多角的な視点で考察し、課題を意欲的に解決しようとしている。					
<ul style="list-style-type: none"> ・明治維新、自由民権運動を基に、国民国家の形成、アジアや欧米諸国との関係の変容を理解させる。 ・文明開化の風潮を理解させる。 ・欧米の思想・文化の影響、産業の発達の背景と影響、地域社会における労働や生活の変化などに着目して、主題を設定し、日本の工業化の進展、近代の文化の形成について、事象の意味や意義、関係性などを多面的・多角的に考察し、歴史に関わる諸事象の解釈や歴史の画期などを根拠を示して表現させる。 	・明治維新と文明開化	知・技	左記の学習内容について正しく理解している。						
		思・判・表	左記の学習内容について、資料を比較・検討し、多面的・多角的な視点で考察し、学んだ知識を活用しながら思考・表現できている。	○	○	○	5		
		主体性	左記の学習内容について、資料を比較・検討し、多面的・多角的な視点で考察し、課題を意欲的に解決しようとしている。						
<ul style="list-style-type: none"> ・大日本帝国憲法の制定、条約改正、日清・日露戦争などを基に、立憲体制への移行、国民国家の形成、アジアや欧米諸国との関係の変容を理解させる。 ・産業革命の展開、交通の整備と産業構造の変容、交通の整備と産業構造の変容、学問の発展や教育制度の拡充、社会問題の発生などを基に、産業の発展の経緯と近代の文化の特色を理解させる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・立憲国家への道 ・議会政治の展開と日清日露戦争 	知・技	左記の学習内容について正しく理解している。						
		思・判・表	左記の学習内容について、資料を比較・検討し、多面的・多角的な視点で考察し、学んだ知識を活用しながら思考・表現できている。	○	○	○	6		
		主体性	左記の学習内容について、資料を比較・検討し、多面的・多角的な視点で考察し、課題を意欲的に解決しようとしている。						
2 学期期末考査				○	○		1		

3 学 期	<ul style="list-style-type: none"> ・アジアや欧米諸国との関係、地域社会の変化、戦争が及ぼした影響などに着目して、近代の政治の展開と国際的地位の確立について、事象の意味や意義、関係性などを考察し、表現させる。 ・欧米の思想・文化の影響、産業の発達の影響と影響、地域社会における労働や生活の変化、教育の普及とその影響などに着目して、主題を設定し、日本の工業化の進展、近代の文化の形成について、事象の意味や意義、関係性などを多面的・多角的に考察し、歴史に関わる諸事象の解釈や歴史の画期などを根拠を示して表現させる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・日露戦争のアジアへの影響 ・産業革命と社会の変化 ・近代文化の形成と展開 	知・技	左記の学習内容について正しく理解している。	○	○	○	5
			思・判・表	左記の学習内容について、資料を比較・検討し、多面的・多角的な視点で考察し、学んだ知識を活用しながら思考・表現できている。				
			主体性	左記の学習内容について、資料を比較・検討し、多面的・多角的な視点で考察し、課題を意欲的に解決しようとしている。				
	<ul style="list-style-type: none"> ・第一次世界大戦、社会運動の動向、政党政治などを基に、国民国家の形成、アジアや欧米諸国との関係の変容を理解させる。 ・学問の発展や教育制度の拡充、社会問題の発生などを基に、近代の文化の特色、大衆社会の形成を理解させる。 ・恐慌と国際関係などを基に、第二次世界大戦に至る過程を理解させる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・第一次世界大戦 ・政党政治の展開 ・市民文化の展開 	知・技	左記の学習内容について正しく理解している。	○	○	○	5
			思・判・表	左記の学習内容について、資料を比較・検討し、多面的・多角的な視点で考察し、学んだ知識を活用しながら思考・表現できている。				
			主体性	左記の学習内容について、資料を比較・検討し、多面的・多角的な視点で考察し、課題を意欲的に解決しようとしている。				
	<ul style="list-style-type: none"> ・軍部の台頭と対外政策、戦時体制の強化と第二次世界大戦の展開などを基に、第二次世界大戦に至る過程及び大戦中の政治・社会、国民生活の変容を理解させる。 ・国際社会やアジア近隣諸国との関係、政治・経済体制の変化、戦争の推移と国民生活への影響などに着目して、主題を設定し、第二次世界大戦と日本の動向の関わりについて、事象の意味や意義、関係性などを多面的・多角的に考察し、歴史に関わる諸事象の解釈や歴史の画期などを根拠を示して表現させる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・満州事変 ・日中戦争 ・アジア・太平洋戦争 	知・技	左記の学習内容について正しく理解している。	○	○	○	5
			思・判・表	左記の学習内容について、資料を比較・検討し、多面的・多角的な視点で考察し、学んだ知識を活用しながら思考・表現できている。				
			主体性	左記の学習内容について、資料を比較・検討し、多面的・多角的な視点で考察し、課題を意欲的に解決しようとしている。				
	<ul style="list-style-type: none"> ・占領政策と諸改革、日本国憲法の成立、平和条約と独立の回復、戦後の経済復興、アジア諸国との関係、高度経済成長、社会・経済・情報の国際化などを基に、我が国の再出発及びその後の政治・経済や対外関係、現代の政治や社会の枠組み、国民生活の変容を理解させる。 ・第二次世界大戦前後の政治や社会の類似と相違、冷戦の影響、国民の生活や地域社会の変化などに着目して、戦前と戦後の国家・社会の変容、戦後政治の展開、日本経済の発展、第二次世界大戦後の国際社会における我が国の役割について、考察し、表現させる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・占領と民主改革 ・独立と日米安保体制に形成 	知・技	左記の学習内容について正しく理解している。	○	○	○	4
			思・判・表	左記の学習内容について、資料を比較・検討し、多面的・多角的な視点で考察し、学んだ知識を活用しながら思考・表現できている。				
			主体性	左記の学習内容について、資料を比較・検討し、多面的・多角的な視点で考察し、課題を意欲的に解決しようとしている。				
<ul style="list-style-type: none"> ・社会・経済・情報の国際化などを基に、政治・経済や対外関係、現代の政治や社会の枠組み、国民生活の変容を理解させる。 ・冷戦の影響、グローバル化の進展の影響、国民の生活や地域社会の変化などに着目して、主題を設定し、政治の展開、日本経済の発展、国際社会における我が国の役割について、事象の意味や意義、関係性などを多面的・多角的に考察し、歴史に関わる諸事象の解釈や歴史の画期などを根拠を示して表現させる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・高度経済成長下の日本 ・国際化する経済大国 ・新たな世紀の日本へ 	知・技	左記の学習内容について正しく理解している。	○	○	○	3	
		思・判・表	左記の学習内容について、資料を比較・検討し、多面的・多角的な視点で考察し、学んだ知識を活用しながら思考・表現できている。					
		主体性	左記の学習内容について、資料を比較・検討し、多面的・多角的な視点で考察し、課題を意欲的に解決しようとしている。					

学年末考査			○	○		1
						合計
						82

武蔵丘 高等学校 令和8年度（2学年用）

教科 地歴 科目 世界史探究

教科：教科 地歴 科目：世界史探究

単位数：3 単位

対象学年組：第 2 学年 選択授業

使用教科書：詳説世界史 世界史探究 山川出版社

教科 世界史探究 の目標：

【知識及び技能】世界の歴史の大きな枠組みについて、世界の歴史に関するさまざまな情報を適切に得ていく技能を身につける。

【思考力、判断力、表現力等】世界の歴史の大きな枠組みと展開に関わる事象の意味や特色を基に議論したりする力を養う。

【学びに向かう力、人間性等】世界の歴史の大きな枠組みと展開に関わる諸事象について、歴史や文化を尊重することの大切さについて学ぶ。

科目 世界史探究 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
世界の歴史の大きな枠組みと展開に関わる諸事象について、地理的条件や日本の歴史と関連づけながら理解し、諸資料から世界の歴史に関するさまざまな情報を適切に得ていく技能を身につける。	世界の歴史の大きな枠組みと展開に関わる事象の意味や特色などを、時期や年代、現代世界とのつながりなどに着目して、多面的・多角的に考察したり、歴史に見られる課題を把握し解決したりする力や、考察したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。	世界の歴史の大きな枠組みと展開に関わる諸事象について、よりよい社会の実現に向けて課題を主体的に探究しようとする態度を養い、多面的・多角的な考察や深い理解を通して、歴史や文化を尊重することの大切さについて学ぶ。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配 当 時 数
<p>A 単元</p> <p>【知識及び技能】 ・オリエント文明、インダス文明、中華文明などを基に、古代文明の歴史的特質を理解する。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 ・古代文明に関わる諸事象の背景や原因、結果や影響、事象相互の関連などに着目し、主題を設定し、諸資料を比較したり関連付けたりして読み解く。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 ・古代文明の歴史的特質について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に追究、解決しようとする態度を養う。</p>	<p>農耕と牧畜のはじまり オリエント文明 インダス文明 中国文明</p>	<p>【知識・技能】 ・オリエント文明、インダス文明、中華文明などを基に、古代文明の歴史的特質を理解している。</p> <p>【思考・判断・表現】 ・古代文明に関わる諸事象の背景や原因、結果や影響、事象相互の関連などに着目し、主題を設定し、諸資料を比較したり関連付けたりして読み解いている。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 ・古代文明の歴史的特質について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に追究、解決しようとする態度を養っている。</p>	○	○	○	3
<p>B 単元</p> <p>【知識及び技能】 ・秦・漢と遊牧国家、唐と近隣諸国の動向などを基に、東アジアと中央ユーラシアの歴史的特質を理解する。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 ・東アジアと中央ユーラシアの歴史に関わる諸事象の背景や原因、結果や影響、事象相互の関連、諸地域相互の関わりなどに着目し、主題を設定し、諸資料を比較したり関連付けたりして読み解く。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 ・東アジアと中央ユーラシアの歴史的特質について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に追究、解決しようとする態度を養う。</p>	<p>春秋・戦国時代の変動 中国古代帝国と東アジア 中央ユーラシアの国家形成 魏晋南北朝・隋・唐</p>	<p>【知識・技能】 ・秦・漢と遊牧国家、唐と近隣諸国の動向などを基に、東アジアと中央ユーラシアの歴史的特質を理解している。</p> <p>【思考・判断・表現】 ・東アジアと中央ユーラシアの歴史に関わる諸事象の背景や原因、結果や影響、事象相互の関連、諸地域相互の関わりなどに着目し、主題を設定し、諸資料を比較したり関連付けたりして読み解いている。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 ・東アジアと中央ユーラシアの歴史的特質について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に追究、解決しようとする態度を養っている。</p>	○	○	○	3
<p>C 単元</p> <p>【知識及び技能】 ・仏教の成立とヒンドゥー教、南アジアと東南アジアの諸国家などを基に、南アジアと東南アジアの歴史的特質を理解する。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 ・南アジアと東南アジアの歴史に関わる諸事象の背景や原因、結果や影響、事象相互の関連、諸地域相互の関わりなどに着目し、主題を設定し、諸資料を比較したり関連付けたりして読み解く。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 ・南アジアと東南アジアの歴史的特質について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に追究、解決しようとする態度を養う。</p>	<p>インド古典文化の形成 古代の東南アジアと海のシルクロード</p>	<p>【知識・技能】 ・仏教の成立とヒンドゥー教、南アジアと東南アジアの諸国家などを基に、南アジアと東南アジアの歴史的特質を理解している。</p> <p>【思考・判断・表現】 ・南アジアと東南アジアの歴史に関わる諸事象の背景や原因、結果や影響、事象相互の関連、諸地域相互の関わりなどに着目し、主題を設定し、諸資料を比較したり関連付けたりして読み解いている。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 ・南アジアと東南アジアの歴史的特質について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に追究、解決しようとする態度を養っている。</p>	○	○	○	4

1 学期	D 単元 【知識及び技能】 ・西アジアと地中海周辺の諸国家などを基に、西アジアと地中海周辺の歴史的特質を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 ・西アジアと地中海周辺の歴史に関わる諸事象の背景や原因、結果や影響、事象相互の関連、諸地域相互の関わりなどに着目し、主題を設定し、諸資料を比較したり関連付けたりして読み解く。 【学びに向かう力、人間性等】 ・西アジアと地中海周辺の歴史的特質について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に追究、解決しようとする態度を養う。	オリエントの統一 ギリシア文明 ヘレニズム時代 ローマ帝国 西アジアの国々と諸宗教	【知識・技能】 ・西アジアと地中海周辺の諸国家などを基に、西アジアと地中海周辺の歴史的特質を理解している。 【思考・判断・表現】 ・西アジアと地中海周辺の歴史に関わる諸事象の背景や原因、結果や影響、事象相互の関連、諸地域相互の関わりなどに着目し、主題を設定し、諸資料を比較したり関連付けたりして読み解いている。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・西アジアと地中海周辺の歴史的特質について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に追究、解決しようとする態度を養っている。	○	○	○	4
	定期考査			○	○		1
	E 単元 【知識及び技能】 ・キリスト教とイスラームの成立とそれらを基盤とした国家の形成などを基に、西アジアと地中海周辺、ヨーロッパの歴史的特質を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 ・西アジアと地中海周辺、ヨーロッパの歴史に関わる諸事象の背景や原因、結果や影響、事象相互の関連、諸地域相互の関わりなどに着目し、主題を設定し、諸資料を比較したり関連付けたりして読み解く。 【学びに向かう力、人間性等】 ・西アジアと地中海周辺、ヨーロッパの歴史的特質について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に追究、解決しようとする態度を養う。	ビザンツ帝国とギリシア正教圏 ラテン=カトリック圏の形成と展開 イスラーム圏の成立 8世紀の世界	【知識・技能】 ・キリスト教とイスラームの成立とそれらを基盤とした国家の形成などを基に、西アジアと地中海周辺、ヨーロッパの歴史的特質を理解している。 【思考・判断・表現】 ・西アジアと地中海周辺、ヨーロッパの歴史に関わる諸事象の背景や原因、結果や影響、事象相互の関連、諸地域相互の関わりなどに着目し、主題を設定し、諸資料を比較したり関連付けたりして読み解いている。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・西アジアと地中海周辺、ヨーロッパの歴史的特質について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に追究、解決しようとする態度を養っている。	○	○	○	5
	F 単元 【知識及び技能】 ・西アジア社会の動向とアフリカ・アジアへのイスラームの伝播、ヨーロッパ封建社会とその展開などを基に、海域と内陸にわたる諸地域の交流の広がりを構造的に理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 ・諸地域の交流の広がりに関わる諸事象の背景や原因、結果や影響、事象相互の関連、諸地域相互のつながりなどに着目し、主題を設定し、諸資料を比較したり関連付けたりして読み解く。 【学びに向かう力、人間性等】 ・西アジア社会の動向とイスラームの伝播、ヨーロッパ封建社会とその展開について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に追究、解決しようとする態度を養う。	イスラーム圏の多極化と展開 ラテン=カトリック圏の拡大 ラテン=カトリック圏の動揺と秩序の変容	【知識・技能】 ・西アジア社会の動向とアフリカ・アジアへのイスラームの伝播、ヨーロッパ封建社会とその展開などを基に、海域と内陸にわたる諸地域の交流の広がりを構造的に理解している。 【思考・判断・表現】 ・諸地域の交流の広がりに関わる諸事象の背景や原因、結果や影響、事象相互の関連、諸地域相互のつながりなどに着目し、主題を設定し、諸資料を比較したり関連付けたりして読み解いている。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・西アジア社会の動向とイスラームの伝播、ヨーロッパ封建社会とその展開について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に追究、解決しようとする態度を養っている。	○	○	○	5
	G 単元 【知識及び技能】 ・宋の社会とモンゴル帝国の拡大などを基に、海域と内陸にわたる諸地域の交流の広がりを構造的に理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 ・諸地域の交流の広がりに関わる諸事象の背景や原因、結果や影響、事象相互の関連、諸地域相互のつながりなどに着目し、主題を設定し、諸資料を比較したり関連付けたりして読み解く。 【学びに向かう力、人間性等】 ・海域と内陸にわたる諸地域の交流の広がりについて、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に追究、解決しようとする態度を養う。	中央ユーラシア諸民族と東アジアの変容 モンゴル帝国の成立 13世紀の世界 東南アジア諸国の再編	【知識・技能】 ・宋の社会とモンゴル帝国の拡大などを基に、海域と内陸にわたる諸地域の交流の広がりを構造的に理解している。 【思考・判断・表現】 ・諸地域の交流の広がりに関わる諸事象の背景や原因、結果や影響、事象相互の関連、諸地域相互のつながりなどに着目し、主題を設定し、諸資料を比較したり関連付けたりして読み解いている。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・海域と内陸にわたる諸地域の交流の広がりについて、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に追究、解決しようとする態度を養っている。	○	○	○	6
	定期考査			○	○		1

<p>H 単元</p> <p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・アジア海域での交易の興隆，明と日本・朝鮮の動向，スペインとポルトガルの活動などを基に，諸地域の交易の進展とヨーロッパの進出を構造的に理解する。 <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・諸地域の交易とヨーロッパの進出に関わる諸事象の背景や原因，結果や影響，事象相互の関連，諸地域相互のつながりなどに着目し，主題を設定し，諸資料を比較したり関連付けたりして読み解く。 <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・諸地域の交易の進展とヨーロッパの進出について，よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に追究，解決しようとする態度を養う。 	<p>明と東アジア ヨーロッパの海外進出 大交易時代の海域アジア 16世紀の世界</p>	<p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・アジア海域での交易の興隆，明と日本・朝鮮の動向，スペインとポルトガルの活動などを基に，諸地域の交易の進展とヨーロッパの進出を構造的に理解している。 <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・諸地域の交易とヨーロッパの進出に関わる諸事象の背景や原因，結果や影響，事象相互の関連，諸地域相互のつながりなどに着目し，主題を設定し，諸資料を比較したり関連付けたりして読み解いている。 <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・諸地域の交易の進展とヨーロッパの進出について，よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に追究，解決しようとする態度を養っている。 	○	○	○	3
<p>I 単元</p> <p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・西アジアや南アジアの諸帝国，清と日本・朝鮮などの動向を基に，アジア諸地域の特質を構造的に理解する。 <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・アジア諸地域の動向に関わる諸事象の背景や原因，結果や影響，事象相互の関連，諸地域相互のつながりなどに着目し，主題を設定し，諸資料を比較したり関連付けたりして読み解く。 <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・近世のアジア諸地域の特質について，よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に追究，解決しようとする態度を養う。 	<p>中央ユーラシアと西アジアの帝国 南アジアの帝国 東南アジア諸国の発展 清と東アジア</p>	<p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・西アジアや南アジアの諸帝国，清と日本・朝鮮などの動向を基に，アジア諸地域の特質を構造的に理解している。 <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・アジア諸地域の動向に関わる諸事象の背景や原因，結果や影響，事象相互の関連，諸地域相互のつながりなどに着目し，主題を設定し，諸資料を比較したり関連付けたりして読み解いている。 <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・近世のアジア諸地域の特質について，よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に追究，解決しようとする態度を養う。 	○	○	○	3
<p>J 単元</p> <p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・宗教改革とヨーロッパ諸国の抗争，大西洋三角貿易の展開，科学革命と啓蒙思想などを基に，主権国家体制の形成と地球規模での交易の拡大を構造的に理解する。 <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ヨーロッパ諸地域の動向に関わる諸事象の背景や原因，結果や影響，事象相互の関連，諸地域相互のつながりなどに着目し，主題を設定し，諸資料を比較したり関連付けたりして読み解く。 <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・主権国家体制の形成と地球規模での交易の拡大について，よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に追究，解決しようとする態度を養う。 	<p>ルネサンスと宗教改革 主権国家体制の成立 16～19世紀の世界 近世ヨーロッパの社会と文化</p>	<p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・宗教改革とヨーロッパ諸国の抗争，大西洋三角貿易の展開，科学革命と啓蒙思想などを基に，主権国家体制の形成と地球規模での交易の拡大を構造的に理解している。 <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ヨーロッパ諸地域の動向に関わる諸事象の背景や原因，結果や影響，事象相互の関連，諸地域相互のつながりなどに着目し，主題を設定し，諸資料を比較したり関連付けたりして読み解く。 <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・主権国家体制の形成と地球規模での交易の拡大について，よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に追究，解決しようとする態度を養っている。 	○	○	○	4
<p>K 単元</p> <p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・産業革命と環大西洋革命などを基に，国民国家と近代民主主義社会の形成を構造的に理解する。 <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・大西洋両岸諸地域の動向に関わる諸事象の背景や原因，結果や影響，事象相互の関連，諸地域相互のつながりなどに着目し，主題を設定し，諸資料を比較したり関連付けたりして読み解く。 <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・産業革命と環大西洋革命について，よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に追究，解決しようとする態度を養う。 	<p>イギリスの産業革命 19世紀前半の世界 南北アメリカの革命 フランス革命とナポレオン帝政</p>	<p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・産業革命と環大西洋革命などを基に，国民国家と近代民主主義社会の形成を構造的に理解している。 <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・大西洋両岸諸地域の動向に関わる諸事象の背景や原因，結果や影響，事象相互の関連，諸地域相互のつながりなどに着目し，主題を設定し，諸資料を比較したり関連付けたりして読み解いている。 <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・産業革命と環大西洋革命について，よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に追究，解決しようとする態度を養っている。 	○	○	○	4
<p>2 学期 定期考査</p>			○	○		1

<p>L単元</p> <p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自由主義とナショナリズム、南北戦争の展開などを基に、国民国家と近代民主主義社会の形成を構造的に理解する。 <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・大西洋両岸諸地域の動向に関わる諸事象の背景や原因、結果や影響、事象相互の関連、諸地域相互のつながりなどに着目し、主題を設定し、諸資料を比較したり関連付けたりして読み解く。 <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・国民国家と近代民主主義社会の形成について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に追究、解決しようとする態度を養う。 	<p>ウィーン体制と1848年の革命</p> <p>19世紀後半のヨーロッパとアメリカ</p> <p>19世紀のヨーロッパ・アメリカの社会と文化</p>	<p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自由主義とナショナリズム、南北戦争の展開などを基に、国民国家と近代民主主義社会の形成を構造的に理解している。 <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・大西洋両岸諸地域の動向に関わる諸事象の背景や原因、結果や影響、事象相互の関連、諸地域相互のつながりなどに着目し、主題を設定し、諸資料を比較したり関連付けたりして読み解いている。 <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・国民国家と近代民主主義社会の形成について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に追究、解決しようとする態度を養っている。 	○	○	○	5
<p>M単元</p> <p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・国際的な分業体制と労働力の移動、イギリスを中心とした自由貿易体制、アジア諸国の植民地化と諸改革などを基に、世界市場の形成とアジア諸国の変容を構造的に理解する。 <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・世界市場の形成とアジア諸国の動向に関わる諸事象の背景や原因、結果や影響、事象相互の関連、諸地域相互のつながりなどに着目し、主題を設定し、諸資料を比較したり関連付けたりして読み解く。 <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・世界市場の形成とアジア諸国の変容、世界分割の進展とナショナリズムの高まりについて、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に追究、解決しようとする態度を養う。 	<p>ヨーロッパの帝国主義</p> <p>アメリカの帝国主義</p> <p>19～20世紀初頭の世界</p> <p>西アジアの改革運動</p> <p>アフリカの分割と抵抗</p> <p>インドの植民地化と民族運動</p> <p>東南アジアの植民地化と民族運動</p> <p>東アジアの国際関係の再編</p>	<p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・国際的な分業体制と労働力の移動、イギリスを中心とした自由貿易体制、アジア諸国の植民地化と諸改革などを基に、世界市場の形成とアジア諸国の変容を構造的に理解している。 <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・世界市場の形成とアジア諸国の動向に関わる諸事象の背景や原因、結果や影響、事象相互の関連、諸地域相互のつながりなどに着目し、主題を設定し、諸資料を比較したり関連付けたりして読み解いている。 <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・世界市場の形成とアジア諸国の変容、世界分割の進展とナショナリズムの高まりについて、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に追究、解決しようとする態度を養っている。 	○	○	○	5
<p>N単元</p> <p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・第一次世界大戦とロシア革命、ヴェルサイユ・ワシントン体制の形成、アメリカ合衆国の台頭、アジア・アフリカの動向とナショナリズムなどを基に、第一次世界大戦の展開と諸地域の変容を構造的に理解する。 <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・第一次世界大戦と大戦後の諸地域の動向に関わる諸事象の背景や原因、結果や影響、事象相互の関連、諸地域相互のつながりなどに着目し、主題を設定し、諸資料を比較したり関連付けたりして読み解く。 <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・第一次世界大戦の展開と諸地域の変容について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に追究、解決しようとする態度を養う。 	<p>第一次世界大戦</p> <p>ヴェルサイユ体制と国際協調</p> <p>アジアのナショナリズムの台頭</p>	<p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・第一次世界大戦とロシア革命、ヴェルサイユ・ワシントン体制の形成、アメリカ合衆国の台頭、アジア・アフリカの動向とナショナリズムなどを基に、第一次世界大戦の展開と諸地域の変容を構造的に理解している。 <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・第一次世界大戦と大戦後の諸地域の動向に関わる諸事象の背景や原因、結果や影響、事象相互の関連、諸地域相互のつながりなどに着目し、主題を設定し、諸資料を比較したり関連付けたりして読み解いている。 <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・第一次世界大戦の展開と諸地域の変容について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に追究、解決しようとする態度を養っている。 	○	○	○	6
<p>定期考査</p>			○	○		1
<p>0単元</p> <p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・世界恐慌とファシズムの動向、ヴェルサイユ・ワシントン体制の動揺などを基に、国際関係の緊張と対立を構造的に理解する。 <ul style="list-style-type: none"> ・第二次世界大戦の展開と大戦後の国際秩序、冷戦とアジア諸国の独立の始まりなどを基に、第二次世界大戦の展開と諸地域の変容を構造的に理解する。 <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・世界恐慌と国際協調体制の動向に関わる諸事象、第二次世界大戦と大戦後の諸地域の動向に関わる諸事象の背景や原因、結果や影響、事象相互の関連、諸地域相互のつながりなどに着目し、主題を設定し、諸資料を比較したり関連付けたりして読み解く。 	<p>世界恐慌とファシズム</p> <p>満洲事変と日中戦争</p> <p>第二次世界大戦</p> <p>戦後の変革と冷戦のはじまり</p>	<p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・世界恐慌とファシズムの動向、ヴェルサイユ・ワシントン体制の動揺などを基に、国際関係の緊張と対立を構造的に理解している。 <ul style="list-style-type: none"> ・第二次世界大戦の展開と大戦後の国際秩序、冷戦とアジア諸国の独立の始まりなどを基に、第二次世界大戦の展開と諸地域の変容を構造的に理解している。 <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・世界恐慌と国際協調体制の動向に関わる諸事象、第二次世界大戦と大戦後の諸地域の動向に関わる諸事象の背景や原因、結果や影響、事象相互の関連、諸地域相互のつながりなどに着目し、主題を設定し、諸資料を比較したり関連付けたりして読み解いている。 <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・戦間期における国際関係の緊張と対立、第二次世界大戦の展開と諸地域の変容について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に追究、解決しようとする態度を養っている。 	○	○	○	5

3 学期	<p>ついたりして読み解く。 【学びに向かう力、人間性等】 ・戦間期における国際関係の緊張と対立、第二次世界大戦の展開と諸地域の変容について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に追究、解決しようとする態度を養う。</p>		<p>的に追究、解決しようとする態度を養っている。</p>				
	<p>P単元 【知識及び技能】 ・集団安全保障と冷戦の展開、アジア・アフリカ諸国の独立と地域連携の動き、平和共存と多極化の進展、冷戦の終結と地域紛争の頻発などを基に、紛争解決の取組と課題を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 ・国際機構の形成と紛争に関わる諸事象の歴史的背景や原因、結果や影響、事象相互の関連、諸地域相互のつながりなどに着目し、主題を設定し、諸資料を比較したり関連付けたりして読み解く。 【学びに向かう力、人間性等】 ・紛争解決の取組と課題について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に追究、解決しようとする態度を養う。</p>	<p>冷戦下の安全保障体制 脱植民地化と非同盟 冷戦の終結と現代世界</p>	<p>【知識・技能】 ・集団安全保障と冷戦の展開、アジア・アフリカ諸国の独立と地域連携の動き、平和共存と多極化の進展、冷戦の終結と地域紛争の頻発などを基に、紛争解決の取組と課題を理解している。 【思考・判断・表現】 ・国際機構の形成と紛争に関わる諸事象の歴史的背景や原因、結果や影響、事象相互の関連、諸地域相互のつながりなどに着目し、主題を設定し、諸資料を比較したり関連付けたりして読み解いている。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・紛争解決の取組と課題について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に追究、解決しようとする態度を養っている。</p>	○	○	○	5
	<p>Q単元 【知識及び技能】 ・先進国の経済成長と南北問題、アメリカ合衆国の覇権の動揺、資源ナショナリズムの動きと産業構造の転換、アジア・ラテンアメリカ諸国の経済成長と南南問題、経済のグローバル化などを基に、格差は正の取組と課題を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 ・国際競争の展開と経済格差に関わる諸事象の歴史的背景や原因、結果や影響、事象相互の関連、諸地域相互のつながりなどに着目し、主題を設定し、諸資料を比較したり関連付けたりして読み解く。 【学びに向かう力、人間性等】 ・格差は正の課題と取組について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に追究、解決しようとする態度を養う。</p>	<p>冷戦と経済統合 第三世界の経済 産業構造と社会の変化 グローバル化と新自由主義の時代</p>	<p>【知識・技能】 ・先進国の経済成長と南北問題、アメリカ合衆国の覇権の動揺、資源ナショナリズムの動きと産業構造の転換、アジア・ラテンアメリカ諸国の経済成長と南南問題、経済のグローバル化などを基に、格差は正の取組と課題を理解している。 【思考・判断・表現】 ・国際競争の展開と経済格差に関わる諸事象の歴史的背景や原因、結果や影響、事象相互の関連、諸地域相互のつながりなどに着目し、主題を設定し、諸資料を比較したり関連付けたりして読み解いている。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・格差は正の課題と取組について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に追究、解決しようとする態度を養っている。</p>	○	○	○	4
	<p>R単元 【知識及び技能】 ・原子力の利用や宇宙探査などの科学技術、医療技術・バイオテクノロジーと生命倫理、人工知能と労働の在り方の変容、情報通信技術の発達と知識の普及などを基に、知識基盤社会の展開と課題を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 ・科学技術の高度化と知識基盤社会に関わる諸事象の歴史的背景や原因、結果や影響、事象相互の関連などに着目し、主題を設定し、諸資料を比較したり関連付けたりして読み解く。 【学びに向かう力、人間性等】 ・知識基盤社会の展開と課題について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に追究、解決しようとする態度を養う。</p>	<p>地球環境の未来 バイオ・生命科学 ICTの発達と情報社会 知識基盤社会の形成 科学技術と平和</p>	<p>【知識・技能】 ・原子力の利用や宇宙探査などの科学技術、医療技術・バイオテクノロジーと生命倫理、人工知能と労働の在り方の変容、情報通信技術の発達と知識の普及などを基に、知識基盤社会の展開と課題を理解している。 【思考・判断・表現】 ・科学技術の高度化と知識基盤社会に関わる諸事象の歴史的背景や原因、結果や影響、事象相互の関連などに着目し、主題を設定し、諸資料を比較したり関連付けたりして読み解いている。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・知識基盤社会の展開と課題について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に追究、解決しようとする態度を養っている。</p>	○	○	○	4
							合計
							82

武蔵丘 高等学校 令和8年度 (2学年) 教科 公民 科目 公共

教科： 教科 公民 科目： 公共 単位数： 2 単位

対象学年組： 第 2 学年 必修授業

使用教科書： 公共新訂版 実教出版株式会社

教科 教科 公民 の目標：

【知識及び技能】事実を正しく理解し、思考のための基礎的な知識を身に着ける。

【思考力、判断力、表現力等】身に着けた知識をもとに、資料等の情報を分析し、考察・表現する。

【学びに向かう力、人間性等】授業に積極的に参加し、有意義な時間にしようとする。また、課題にきちんと取り組む。

科目 公共 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
現代の諸課題を捉え考察し、選択・判断するための手掛かりとなる概念や理論について理解するとともに、諸資料から、倫理的主体などとして活動するために必要となる情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。	現実社会の諸課題の解決に向けて、選択・判断の手掛かりとなる考え方や公共的な空間における基本的原理を活用して、事実を基に多面的・多角的に考察し公正に判断する力や、合意形成や社会参画を視野に入れながら構想したことを議論する力を養う。	よりよい社会の実現を視野に、現代の諸課題を主体的に解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される。現代社会に生きる人間としての在り方生き方についての自覚や、公共的な空間に生き国民主権を担う公民として、自国を愛し、その平和と繁栄を図ることや、各国が相互に主権を尊重し、各国民が協力し合うことの大切さについての自覚などを深める。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	担当時数
A 単元 【知識及び技能】 ・青年期の意義と特徴について理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 ・人生における青年期の意義と特徴について、多面的に考察し、適切に表現する。 【学びに向かう力、人間性等】 よりよい社会の実現を視野に、青年期の意義や特徴への深い理解を通して、社会に参画する自立した主体についての自覚を深めようとする。	・生涯における青年期の意義	【知識・技能】 ・青年期の意義と特徴について理解している。 【思考・判断・表現】 ・人生における青年期の意義と特徴について、多面的に考察し、適切に表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・よりよい社会の実現を視野に、青年期の意義や特徴への深い理解を通して、社会に参画する自立した主体についての自覚を深めようとしている。	○	○	○	3
B 単元 【知識・技能】 ・葛藤や欲求不満とその対処法、パーソナリティの理論や青年期の発達課題について理解する。 ・防衛機制のそれぞれの内容を理解する。 【思考・判断・表現】 ・望ましい自己のあり方と自己形成について、多面的に考察し、適切に表現する。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・よりよい社会の実現を視野に、青年期の発達課題や自己形成の課題への深い理解を通して、社会に参画する自立した主体についての自覚を深める。	青年期と自己形成の課題 職業生活と社会参加 現代社会と現代の生き方	【知識・技能】 ・葛藤や欲求不満とその対処法、パーソナリティの理論や青年期の発達課題について理解している。 ・防衛機制のそれぞれの内容を理解している。 【思考・判断・表現】 ・望ましい自己のあり方と自己形成について、多面的に考察し、適切に表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・よりよい社会の実現を視野に、青年期の発達課題や自己形成の課題への深い理解を通して、社会に参画する自立した主体についての自覚を深めようとしている。	○	○	○	3
C 単元 【知識・技能】 ・ソクラテスが唱えた、「よく生きる」ことが何であるかを理解する。 ・人間の幸福な生き方についてのソクラテス、プラトン、アリストテレスの考え方を理解する。 【思考・判断・表現】 ・よく生きること、幸福に生きることについて、多面的に考察し、適切に表現する。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・よりよい社会の実現を視野に、理想的な人間の生き方についての先哲の考え方への深い理解を通して、公共的な空間における人間としてのあり方生き方についての自覚を深める。	ギリシアの思想 宗教の教え 個人と社会 主体性の確立 他者の尊重	【知識・技能】 ・ソクラテスが唱えた、「よく生きる」ことが何であるかを理解している。 ・人間の幸福な生き方についてのソクラテス、プラトン、アリストテレスの考え方を理解している。 【思考・判断・表現】 ・よく生きること、幸福に生きることについて、多面的に考察し、適切に表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・よりよい社会の実現を視野に、理想的な人間の生き方についての先哲の考え方への深い理解を通して、公共的な空間における人間としてのあり方生き方についての自覚を深めようとしている。	○	○	○	4

<p>D単元</p> <ul style="list-style-type: none"> ・公正な社会のあり方についてのロールズの考え方を理解する。 ・ロールズの正義論を批判した、リバタリアニズムとコミュニタリアニズムの考え方を理解する。 <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・公正な社会について、多面的に考察し、適切に表現する。 <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・よりよい社会の実現を視野に、社会の公正なあり方についての先哲の考え方への深い理解を通して、公共的な空間における人間としてのあり方生き方についての自覚を深める。 	公正な社会	<p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・公正な社会のあり方についてのロールズの考え方を理解している。 ・ロールズの正義論を批判した、リバタリアニズムとコミュニタリアニズムの考え方を理解している。 <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・公正な社会について、多面的に考察し、適切に表現している。 <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・よりよい社会の実現を視野に、社会の公正なあり方についての先哲の考え方への深い理解を通して、公共的な空間における人間としてのあり方生き方についての自覚を深めようとしている。 	○	○	○	4
定期考査			○	○		1
<p>E 単元</p> <p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各人の意見や利害を公平・公正に調整することなどを通して、人間の尊厳と平等、協働の利益と社会の安定性の確保を共に図ることが、公共的な空間を作る上で必要であることについて理解する。 ・人間の尊厳と平等、個人の尊重、自由・権利と責任・義務など、公共的な空間における基本的原理について理解している。 <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・公共的な空間における基本的原理について、思考実験など概念的な枠組みを用いて考察する活動を通して、個人と社会との関わりにおいて多面的・多角的に考察し、表現する。 <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・よりよい社会の実現を視野に、多面的・多角的な考察や深い理解を通して、公共的な空間における基本的な原理について理解する。 	人間の尊厳と平等 自由・権利と責任・義務 人権保障の発展と民主政治の成立 国民主権と民主政治の発展	<p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各人の意見や利害を公平・公正に調整することなどを通して、人間の尊厳と平等、協働の利益と社会の安定性の確保を共に図ることが、公共的な空間を作る上で必要であることについて理解している。 ・人間の尊厳と平等、個人の尊重、自由・権利と責任・義務など、公共的な空間における基本的原理について理解している。 <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・公共的な空間における基本的原理について、思考実験など概念的な枠組みを用いて考察する活動を通して、個人と社会との関わりにおいて多面的・多角的に考察し、表現している。 <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・よりよい社会の実現を視野に、多面的・多角的な考察や深い理解を通して、公共的な空間における基本的な原理について理解しようとしている。 	○	○	○	5
<p>F 単元</p> <p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・明治憲法下の政治機構と日本国憲法下の政治機構の相違点を適切に読み取る。 <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・憲法の意義について、多面的に考察し、適切に表現する。 <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・憲法について主体的に追究して、学習上の課題を意欲的に解決しようとする。 	日本国憲法の成立	<p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・明治憲法下の政治機構と日本国憲法下の政治機構の相違点を適切に読み取っている。 <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・憲法の意義について、多面的に考察し、適切に表現している。 <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・憲法について主体的に追究して、学習上の課題を意欲的に解決しようとしている。 	○	○	○	5
<p>G 単元</p> <p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日本国憲法の平和主義の内容と日米安保体制が生まれた背景について理解する。 ・1990年代以降の安全保障体制の変容とこんにちの課題について理解する。 <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・安全保障について、多面的に考察し、適切に表現する。 <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・我が国の安全保障と防衛について主体的に追究して、学習上の課題を意欲的に解決しようとする。 	平和主義とわが国の安全	<p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日本国憲法の平和主義の内容と日米安保体制が生まれた背景について理解している。 ・1990年代以降の安全保障体制の変容とこんにちの課題について理解している。 <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・安全保障について、多面的に考察し、適切に表現している。 <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・我が国の安全保障と防衛について主体的に追究して、学習上の課題を意欲的に解決しようとしている。 	○	○	○	6
定期考査			○	○		1

2 学 期	H 単 元 【知識・技能】 ・自由権・平等権・社会権などの諸権利の内容について理解する。 ・公共の福祉の内容について理解する。 【思考・判断・表現】 ・憲法が保障する自由や権利について、多面的に考察し、適切に表現する。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・基本的人権について主体的に追究して、学習上の課題を意欲的に解決しようとする。	基本的人権の保障 人権の広がり	【知識・技能】 ・自由権・平等権・社会権などの諸権利の内容について理解している。 ・公共の福祉の内容について理解している。 【思考・判断・表現】 ・憲法が保障する自由や権利について、多面的に考察し、適切に表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・基本的人権について主体的に追究して、学習上の課題を意欲的に解決しようとしている。	○	○	○	3
	I 単 元 【知識・技能】 ・司法参加の意義などに関わる現実社会の事柄や課題を基に、憲法の下、適正な手続きに則り、法や規範に基づいて各人の意見や利害を公平・公正に調整し、個人や社会の紛争を調停、解決することなどを通して、権利や自由が保障、実現され、社会の秩序が形成、維持されていくことについて理解する。 【思考・判断・表現】 ・自立した主体として解決が求められる具体的な主題を設定し、合意形成や社会参画を視野に入れながら、その主題の解決に向けて事実を基に協働して考察したり構想したりしたことを、論拠をもって表現する。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・よりよい社会の実現を視野に、多面的・多角的な考察や深い理解を通して、司法参加の意義、政治参加と公正な世論の形成、地方自治などに関わる現実社会の事柄や課題といった現代の諸課題を主体的に解決しようとする。	政治機構と国民生活 人権保障と裁判所 地方自治	【知識・技能】 ・司法参加の意義などに関わる現実社会の事柄や課題を基に、憲法の下、適正な手続きに則り、法や規範に基づいて各人の意見や利害を公平・公正に調整し、個人や社会の紛争を調停、解決することなどを通して、権利や自由が保障、実現され、社会の秩序が形成、維持されていくことについて理解している。 【思考・判断・表現】 ・自立した主体として解決が求められる具体的な主題を設定し、合意形成や社会参画を視野に入れながら、その主題の解決に向けて事実を基に協働して考察したり構想したりしたことを、論拠をもって表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・よりよい社会の実現を視野に、多面的・多角的な考察や深い理解を通して、司法参加の意義、政治参加と公正な世論の形成、地方自治などに関わる現実社会の事柄や課題といった現代の諸課題を主体的に解決しようとしている。	○	○	○	3
	J 単 元 【知識・技能】 ・日本の選挙制度の種類とそれぞれの特徴、議員定数の不均衡などの課題について理解する。 【思考・判断・表現】 ・公正な選挙制度のあり方について、協働的に考察し、適切に表現する。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・選挙制度と政党政治について主体的に追究して、学習上の課題を意欲的に解決しようとする。	選挙と政党 政治参加と世論	【知識・技能】 ・日本の選挙制度の種類とそれぞれの特徴、議員定数の不均衡などの課題について理解している。 【思考・判断・表現】 ・公正な選挙制度のあり方について、協働的に考察し、適切に表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・選挙制度と政党政治について主体的に追究して、学習上の課題を意欲的に解決しようとしている。	○	○	○	4
	K 単 元 【知識・技能】 ・資本主義経済の成立と展開、経済における政府の役割の変化について理解する。 【思考・判断・表現】 ・資本主義経済の成立以降、経済社会がどのように展開していったか、政府の役割の変化と関連させて考察する。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・資本主義経済の変遷、社会主義経済の特徴と変容、現代資本主義の課題について主体的に追究して、学習上の課題を意欲的に解決しようとする。	経済社会の形成と変容 市場のしくみ 現代の企業	【知識・技能】 ・資本主義経済の成立と展開、経済における政府の役割の変化について理解している。 【思考・判断・表現】 ・資本主義経済の成立以降、経済社会がどのように展開していったか、政府の役割の変化と関連させて考察している。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・資本主義経済の変遷、社会主義経済の特徴と変容、現代資本主義の課題について主体的に追究して、学習上の課題を意欲的に解決しようとしている。	○	○	○	4
	定期考査			○	○		1

<p>L単元</p> <p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・経済成長と景気循環、物価とインフレ・デフレの生活への影響について理解する。 <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・豊かさをあらわす指標には、どのような要素が必要であるのか、国の豊かさを数値化する意味について、多面的に考察する。 <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・金融や金融政策における中央銀行の役割について関心を持ち、金融の自由化や国際化について主体的に追究して、学習上の課題を意欲的に解決しようとする。 	<p>経済成長と景気変動 金融機関の働き</p>	<p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・経済成長と景気循環、物価とインフレ・デフレの生活への影響について理解している。 <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・豊かさをあらわす指標には、どのような要素が必要であるのか、国の豊かさを数値化する意味について、多面的に考察している。 <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・金融や金融政策における中央銀行の役割について関心を持ち、金融の自由化や国際化について主体的に追究して、学習上の課題を意欲的に解決しようとしている。 	○	○	○	5
<p>M単元</p> <p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・現実社会の諸課題に関わる諸資料から、自立した主体として活動するために必要な情報を適切かつ効果的に収集し、読み取り、まとめる技能を身に付ける。 <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・現在の日本経済の課題について、多面的に考察し、適切に表現する。 <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・今後の日本経済がどのような豊かさを目指していくべきかについて主体的に追究して、よりよい社会の実現を視野に学習したことを社会生活に生かそうとする。 	<p>政府の役割と財政・租税 日本経済の歩みと近年の課題 中小企業と農業 公害防止と環境保全 消費者問題</p>	<p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・現実社会の諸課題に関わる諸資料から、自立した主体として活動するために必要な情報を適切かつ効果的に収集し、読み取り、まとめる技能を身に付けている。 <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・現在の日本経済の課題について、多面的に考察し、適切に表現している。 <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・今後の日本経済がどのような豊かさを目指していくべきかについて主体的に追究して、よりよい社会の実現を視野に学習したことを社会生活に生かそうとしている。 	○	○	○	5
<p>N単元</p> <p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・社会保障の考え方を知り、それらが歴史的にどのように制度化されてきたかについて理解する。 <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・これからの社会保障制度をどのように形成していくべきかについて、多面的・多角的に考察したうえで、給付と負担のバランスについて選択・判断し、それらを適切に表現する。 <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・よりよい社会の実現を視野に、ワーキングプアの解消やワーク・ライフ・バランスの実現を目指して、学習した内容を社会生活に生かそうとする。 	<p>労働問題と雇用 社会保障</p>	<p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・社会保障の考え方を知り、それらが歴史的にどのように制度化されてきたかについて理解している。 <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・これからの社会保障制度をどのように形成していくべきかについて、多面的・多角的に考察したうえで、給付と負担のバランスについて選択・判断し、それらを適切に表現している。 <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・よりよい社会の実現を視野に、ワーキングプアの解消やワーク・ライフ・バランスの実現を目指して、学習した内容を社会生活に生かそうとしている。 	○	○	○	6
<p>定期考査</p>			○	○		1
<p>O単元</p> <p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・国際社会には中央政府のようなものが存在しておらず、そのなかで各国が国家利益を調整する国際政治が行われていることを理解する。 <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・国際連合が抱えている課題について、採決や財政の観点などから協働的に考察し、それらを適切に表現する。 <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・よりよい社会の実現を視野に、主権国家間の国家利益を調整することについて学習したことを、他者との利害調整といった社会生活に生かそうとする。 	<p>国際社会における政治と法 国家安全保障と国際連合 冷戦終結後の国際政治</p>	<p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・国際社会には中央政府のようなものが存在しておらず、そのなかで各国が国家利益を調整する国際政治が行われていることを理解している。 <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・国際連合が抱えている課題について、採決や財政の観点などから協働的に考察し、それらを適切に表現している。 <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・よりよい社会の実現を視野に、主権国家間の国家利益を調整することについて学習したことを、他者との利害調整といった社会生活に生かそうとしている。 	○	○	○	5

武蔵丘 高等学校 令和8年度 (2学年用) 教科

数学 科目 数学Ⅱ

教科： 数学 科目： 数学Ⅱ

単位数： 4 単位

対象学年組： 第 2 学年 1 組～ 8 組

使用教科書： (NEXT 数学Ⅱ (数研出版))

教科 数学 の目標：

【知識及び技能】事象を数学化したり、解釈したり、表現・処理をする技能を養う。

【思考力、判断力、表現力等】論理的に考察し、表現する力を養い、事象の本質を統合的・発展的に考察する力も養う。

【主体的に学習に取り組む態度】 数学の良さを認識する。また数学を活用し物事を判断する力とその粘り強さを養う。

科目 数学Ⅱ の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力】	【主体的に学習に取り組む態度】
いろいろな式、図形と方程式、指数関数・対数関数、三角関数及び微分・積分の考えについての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。	数の範囲や式の性質に着目し、等式や不等式が成り立つことなどについて論理的に考察する力、座標平面上の図形について構成要素間の関係に着目し、方程式を用いて図形を簡潔・明瞭・的確に表現したり、図形の性質を論理的に考察したりする力、関数関係に着目し、事象を的確に表現してその特徴を数学的に考察する力、関数の局所的な変化に着目し、事象を数学的に考察したり、問題解決の過程や結果を振り返って統合的・発展的に考察したりする力を養う。	数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度、粘り強く柔軟に考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
第1節式と計算 1. 3次式の展開と因数分解 (1) 2. 二項定理 (2) 3. 多項式の割り算 (1.5) 4. 分数式とその計算 (1.5) 5. 恒等式 (1.5) 【知識及び技能】 ・基本的な概念、原理、法則を理解する 【思考力、判断力、表現力等】 ・数や式を目的に応じて変形する力 【主体的に学習に取り組む態度】 ・問題解決の過程を振り返って考察を深めたり評価・改善する態度を養う。	多項式の乗法・除法及び分数式の四則計算について理解できるようにする。 ・数の範囲や式の性質に着目し、等式や不等式が成り立つことを証明できるようにする。 ・教科書・CONNECT	【知識・技能】 ・3次式の展開の公式を利用することができる。 ・ $(a+b)^n$ の展開式からパスカルの三角形を導き、パスカルの三角形の性質を理解する。 ・二項定理を利用して、展開式やその項の係数を求めることができる。 ・二項定理を3項の場合に適用することで、展開式の係数を求めることができる。 ・3次式の因数分解の公式を利用することができる。 ・式の形に着目して変形し、3次式の因数分解の公式を適用する形にすることができる。 ・多項式の割り算の計算方法を理解している。 ・割り算で成り立つ等式を理解し、利用することができる。 ・2種類以上の文字を含む多項式の割り算を行うことができる。 ・分数式の約分、四則計算ができる。 ・分数式の計算の結果を、既約分数式または多項式の形にして表現することができる。 ・繁分数式を簡単にすることができる。 ・恒等式と方程式の違いを理解している。 ・恒等式となるように、係数を決定することができる。 ・分数式の恒等式の分母を払った等式が恒等式であることを利用できる。 ・恒等式 $A = B$ の証明を、適切な方法で行うことができる。 ・ $A = B$ と $A - B = 0$ が同値であることを利用して、等式を証明することができる。 ・比例式 $y = kx$ において処理することができる。 ・実数の大小関係の基本性質に基づいて、自明な不等式を証明することができる。 ・平方の大小関係を利用して、不等式を証明することができる。 ・絶対値の性質を利用して、絶対値を含む不等式を証明することができる。 ・相加平均・相乗平均の大小関係を利用して、不等式を証明することができる。 【思考・判断・表現】 ・数学Ⅰで既習の2次式の展開公式を利用して、3次式の展開公式を導くことができる。 ・二項定理をパスカルの三角形と結び付けて考えることができる。 ・二項定理を等式の証明に活用することができる。 ・多項式の割り算の結果を等式で表して考えることができる。 ・2種類以上の文字を含む多項式の割り算を、1つの文字に着目することで、1文字の場合と同様に考えることができる。 ・分数式を分数と同じように約分、通分して扱うことができる。 ・恒等式における文字の役割の違いを認識できる。 ・与えられた条件式の利用方法を考え、等式を証明することができる。 ・不等式 $A > B$ を証明するとき、 $A - B > 0$ を示してもよいことを利用して、不等式を証明することができる。 ・不等式の証明に実数の性質を利用できるように、式変形を考えることができる。 ・不等式の証明で、等号の成り立つ場合について考察できる。 ・同値な不等式を証明することで、もとの不等式	○	○	○	18

		<p>を証明することができる。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・授業中の宿題、定期考査前の課題を理解したうえで終わらせることが出来る。 ・考察しようとする力、自ら問題を理解し解決する意欲をつける。 ・因数分解の検算に展開を利用しようとする態度がある。 ・$[(a+b+c)]^n$を展開したときの$[a]^p [b]^q [c]^r$の係数がどうなるかを、興味・関心をもって調べようとする。 ・2種類の文字を含む多項式の割り算に興味を示し、具体的な問題に取り組もうとする。 ・繁分数式を分数式の性質を用いて処理することに意欲を示す。 ・恒等式の係数を決定する際に、係数比較法と数値代入法とを、比較して考察しようとする。 ・比例式を含む等式の証明を通じて、加比の理に興味をもち、考察しようとする。 ・不等式の証明を通じて、三角不等式に興味・関心をもち、それを利用しようとする。 				
定期考査			○	○		1
<p>第2章 複素数と方程式</p> <p>第1節 複素数と2次方程式の解</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 複素数とその計算 (2) 2. 2次方程式の解 (1.5) 3. 解と係数の関係 (4) <p>第2節 高次方程式</p> <ol style="list-style-type: none"> 4. 剰余の定理と因数定理 (2) 5. 高次方程式 (1.5) <p>第3章 図形と方程式</p> <p>第1節 点と直線</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 直線上の点(1) 2. 平面上の点(2.5) 3. 直線の方程式(1.5) <p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・基本的な概念、原理、法則を理解する 【思考力、判断力、表現力等】 ・数や式を目的に応じて変形する力 【主体的に学習に取り組む態度】 ・問題解決の過程を振り返って考察を深めたり評価・改善する態度を養う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・方程式についての理解を深め、数の範囲を複素数まで拡張して2次方程式を解くことができるようにする。 ・剰余の定理や因数分解を利用して高次方程式を解くことが出来るようにする。 ・座標や式を用いて、直線の性質や関係を数学的に表現し、事象の考察に活用できるようにする。 ・教科書・CONNECT 	<p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・複素数の相等の定義を理解している。 ・複素数の四則計算ができる。 ・負の数の平方根を理解している。 ・負の数の平方根を含む式の計算を、iを用いて処理することができる。 ・2次方程式の解の公式を利用して、2次方程式を解くことができる。 ・判別式を利用して、2次方程式の解の種類を判別することができる。 ・解と係数の関係を使って、対称式の値や2次方程式の係数を求めることができる。 ・対称式を基本対称式で表して、式の値を求めることができる。 ・2次方程式の解を利用して、2次式を因数分解できる。 ・和と積が与えられた2数を、2次方程式を解くことにより求めることができる。 ・剰余の定理を利用して、多項式を1次式や2次式で割ったときの余りを求めることができる。 ・$P(k)=0$であるkの値の見つけ方を理解し、高次式を因数分解できる。 ・因数分解や因数定理を利用して、高次方程式を解くことができる。 ・高次方程式の2重解、3重解の意味を理解している。 ・高次方程式の虚数解から、方程式の係数を決定することができる。 ・高次方程式が虚数解$a+bi$を解にもてば、$a-bi$を解にもつことを利用できる。 ・数直線上において、2点間の距離、線分の内分点、外分点の座標が求められる。 ・線分の外分点の公式を適用する際に、分母を正にして計算しようとする。 ・座標平面上において、2点間の距離が求められる。 ・座標平面上において、線分の内分点、外分点の座標が求められる。 ・三角形の重心の座標の公式を理解している。 ・x軸に垂直な直線は$y=mx+n$の形に表せないことを理解している。 ・与えられた条件を満たす直線の方程式の求め方を理解している。 <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・複素数の表記を理解し、複素数$a+0i$を実数aと同一視できる。 ・複素数の四則計算の結果は複素数であることを理解している。 ・判別式Dの代わりに$D/4$を用いても解の種類を判別できることを理解し、積極的に用いようとする。 ・与えられた2数を解にもつ2次方程式が1つには定 				

<p>まらなことを理解している。 異なる2つの実数 α, β が正の数, 負の数, 異符号であることを同値な式で表現できる。 ・2次方程式の解の符号に関する問題を, 解と係数の関係を利用して解くことができる。 ・多項式を1次式で割ったときの余りについて, 剰余の定理で考察することができる。 ・多項式 $P(x)$ が $x-k$ で割り切れることを式で表現することができる。 ・高次方程式を1次方程式や2次方程式に帰着させることができる。 ・高次方程式が解 α をもつことを, 式を用いて表現できる。 ・線分の内分点, 外分点の公式を統一して捉えようとする。 ・図形の性質を証明する際に, 計算が簡単になるように座標軸を適切に設定できる。 ・点の座標を求めるのに, 図形の性質を適切に利用できる。 ・直線が x, y の1次方程式で表されることを理解している。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 ・授業中の宿題, 定期考査前の課題を理解したうえで終わらせることが出来る。 ・考察しようとする力, 自ら問題を理解し解決する意欲をつける。 ・2次方程式が常に解をもつように考えられた複素数に興味・関心を示し, 考察しようとする。 ・2次方程式の解が虚数になる場合もあることに興味を示し, 2次方程式の解を考察しようとする。 ・2次式を複素数の範囲で因数分解することに興味をもち, 問題に取り組もうとする。 ・多項式を1次式で割る計算に, 組立除法を積極的に利用する。 ・1の3乗根の性質に興味・関心をもち, 具体的な問題に取り組もうとする。 ・数直線上の点について調べようとする。 ・図形の問題を座標平面上で代数的に解決する解法のよさを知ろうとする。 ・切片形の公式を利用して, 直線の方程式を求めようとする。</p>	○	○	○	8
<p>【知識・技能】 ・2直線の平行・垂直条件を理解していて, それを利用できる。 ・2直線の平行・垂直条件を理解していて, それを利用できる。 ・図形 $F(x, y)=0$ が点 (s, t) を通ることを $F(s, t)=0$ として処理できる。 ・点と直線の距離の公式を理解していて, それを利用することができる。 ・ $kF(x, y)+G(x, y)=0$ の形を利用して, 直線の方程式を求めることができる。 ・与えられた条件を満たす円の方程式の求め方を理解している。 ・ x, y の2次方程式を変形して, その方程式が表す図形を調べることができる。 ・図形 $F(x, y)=0$ が点 (s, t) を通ることを $F(s, t)=0$ として処理できる。 ・3点を通る円の方程式を求めることができる。 ・円と直線の共有点の座標を求めることができる。 ・円と直線の位置関係を, 適切な方法で判定できる。 ・円の接線の公式を理解していて, それを利用できる。 ・円外の点から引いた接線の方程式を求めることができる。 ・2つの円の位置関係を, 中心間の距離と半径の関係から調べることができる。 ・2つの円の位置関係と, 中心間の距離と半径から, 円の方程式を求めることができる。 ・2つの円の共有点の座標を求める際に, 適切な方法で文字を消去することができる。 ・ $kF(x, y)+G(x, y)=0$ の形を利用して, 円の方程式を求めることができる。 ・点を満たす条件から得られた方程式を, 図形として考察することができる。 ・軌跡の定義を理解し, 与えられた条件を満たす点の軌跡を求めることができる。 ・媒介変数処理が必要な軌跡の求め方を理解して</p>				

第三章 図形と方程式
第1節
4. 2直線の関係(3)
第2節
5. 円の方程式(2)
6. 円と直線(3)
7. 2つの円(2)
8. 軌跡と方程式(2)
9. 不等式の表す領域(3)

座標や式を用いて, 直線の性質や関係を数学的に表現し, その有用性を認識するとともに, 事象の考察に活用できるようにする。

座標や式を用いて, 円の性質や関係を数学的に表現し, その有用性を認識するとともに, 事象の考察に活用できるようにする。

図形を, 与えられた条件を満たす点の集合として認識するとともに, 不等式を満たす点の集合が座標平面上の領域を表すことを理解し, それらを事象の考察に活用できるようにする。

・教科書・CONNECT

		<p>ある領域を求めようとしている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・不等式の表す領域を図示することができる。 ・連立不等式の表す領域を図示することができる。 ・領域を利用する1次式の最大値・最小値の求め方を理解している。 ・領域を利用して、命題を証明することができる。 <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・図形的条件（線対称など）を式で表現できる。 ・直線に関して対称な点の座標を求めることができる。 ・円の方程式が x, y の2次方程式で表されることを理解している。 ・3点を通る円はこの3点を頂点とする三角形の外接円であることを理解している。 ・円と直線の共有点の個数を、2次方程式の実数解の個数で考察することができる。 ・円の中心から直線までの距離と円の半径の大小関係を代数的に処理することで、円と直線の位置関係を考察することができる。 ・2つの円の位置関係を、中心間の距離と半径の関係で考察することができる。 ・平面上の点の軌跡を、座標平面を利用して考察することができる。 ・軌跡を求めるには、逆についても調べる必要があることを理解している。 ・不等式の満たす解を、座標平面上の点の集合としてみる可以尝试。 ・条件の真理集合を考えることにより、命題の真偽を真理集合の包含関係として考察することができる。 <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・授業中の宿題、定期考査前の課題を理解したうえで終わらせることが出来る。 ・考察しようとする力、自ら問題を理解し解決する意欲をつける。 ・ある点を通り与えられた直線に平行な直線、垂直な直線の方程式を公式化し、利用しようとする。 ・2直線の交点を通る直線の方程式に興味・関心をもち、具体的な問題に利用しようとする。 ・x, y の2次方程式が常に円を表すとは限らないことを考察しようとする。 ・円と直線の位置関係を、2次方程式の判別式や、円の中心から直線までの距離と円の半径の大小関係により調べようとする。 ・2つの円の交点を通る円の方程式に興味・関心をもち、具体的な問題に利用しようとする。 ・点が満たす条件から得られた方程式がどのような図形を表しているかを考察しようとする。 ・不等式を含む命題を、不等式の表す領域を用いて証明することに興味・関心をもつ。 ・放物線を境界線とする領域に関心をもち、考察しようとする。 	○	○	○	13
定期考査			○	○		1
<p>第3章 2次関数 第2節 2次方程式と2次不等式</p> <p>第4章 図形と計量 第一節 三角比</p> <p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・基本的な概念、原理、法則を理解する 【思考力、判断力、表現力等】 ・数や式を目的に応じて変形する力 【主体的に学習に取り組む態度】 ・問題解決の過程を振り返って考察を深めたり評価・改善する態度を養う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・2次方程式や2次不等式の会と2次関数のグラフとの関係について理解させる。2次関数のグラフを用いて2次不等式の解を求められるようにする。 ・三角比の意味やその基本的な性質を理解させ、三角比の相互関係を理解させる。また最終的には、日常の事象を数学的にとらえ、三角比が使い問題解決できる力を養う。 ・教科書・CONNECT 	<p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・2次方程式の解き方として、因数分解、解の公式を理解する。 ・2次方程式において、判別式を用いて、実数解の個数が出せるようになる。 ・2次関数のグラフと x 軸との共有点の個数、座標を求めることが出来る。 ・2次不等式を解けるようになり、応用問題や連立不等式が解けるようになる。 <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・二次方程式が実数解や住改を持つための条件を式で示せる。 ・x 軸との共有点や位置関係を判別式から判断できるようする。 ・2次不等式の解をグラフと関連させて判断できるようにする。 <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・授業中の宿題、定期考査前の課題を理解したうえで終わらせることが出来る。 ・考察しようとする力、自ら問題を理解し解決する意欲をつける。 	○	○	○	13

<p>第4章 三角関数 第一節 三角関数 1. 角の拡張(1.5) 2. 三角関数(1.5) 3. 三角関数のグラフ(3) 4. 三角関数の性質 5. 三角関数の応用(3)</p> <p>【知識及び技能】 ・基本的な概念、原理、法則を理解する 【思考力、判断力、表現力等】 ・数や式を目的に応じて変形する力 【主体的に学習に取り組む態度】 ・問題解決の過程を振り返って考察を深めたり評価・改善する態度を養う。</p>	<p>・角の概念を一般角まで拡張して、三角関数に関する様々な性質や式とグラフの関係について多面的に考察できるようにする。</p> <p>・教科書・CONNECT</p>	<p>【知識・技能】 ・一般角を表す動径を図示したり、動径の表す角を $\alpha + 360^\circ \times n$ と表したりすることができる。 ・角度の表し方に度数法と弧度法があることを理解している。 ・弧度法の定義を理解し、度数法と弧度法の換算をすることができる。 ・扇形の弧の長さや面積の公式を理解している。 ・弧度法で表された角の三角関数の値を、三角関数の定義によって求めることができる。 ・単位円上の点の座標を、三角関数を用いて表すことができる。 ・三角関数の相互関係を理解し、それらを利用して様々な値を求めたり、式変形をしたりすることができる。 ・いろいろな三角関数のグラフのかき方と周期の求め方を理解している。 ・$y = \sin(k\theta + \alpha)$ の形の関数の式を適切に変形して、グラフや周期を考察することができる。 ・三角関数の性質とグラフの特徴を相互に理解している。 ・$\theta + 2n\pi$ や $-\theta$ などの公式を理解し、それらを用いて三角関数の値を求めることができる。 ・$-1 \leq \sin \theta \leq 1$ などに注意して、おき換えによって三角関数を含む関数の最大値・最小値を考察できる。 ・三角関数を含む関数の最大値・最小値を求めることができる。</p> <p>【思考・判断・表現】 ・一般角を動径とともに考察することができる。 ・弧の長さや角を関する方法として、弧度法を考察することができる。 ・三角比の定義を、三角関数の定義に一般化することができる。 ・単位円上の点の動きから、三角関数のグラフを考察することができる。 ・三角関数の性質を、グラフの特徴とともに考察することができる。 ・三角関数の性質を、単位円を用いて考察することができる。 ・三角関数を含む方程式・不等式を解く際に、単位円やグラフを図示して考察することができる。また、その解き方を理解している。 ・変数をおき換えることで、三角関数を含む方程式を考察することができる。また、その解き方を理解している。 ・変数をおき換えることで、三角関数を含む関数の最大値・最小値を考察することができる。 ・角を弧度法で表した場合にも、加法定理が適用できる。 ・2倍角の公式を利用して、三角関数を含むやや複雑な方程式・不等式の角を統一して考察することができる。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 ・授業中の宿題、定期考査前の課題を理解したうえで終わらせることが出来る。 ・考察しようとする力、自ら問題を理解し解決する意欲をつける。 ・弧度法に興味をもち、角度の換算に取り組もうとする。 ・三角比の定義を一般化して、三角関数の定義を考察しようとする。 ・$y = \sin \theta$ と $y = \cos \theta$ のグラフが同じ形の曲線であることに興味・関心をもつ。 ・周期関数に興味をもち、その性質を調べようとする。 ・単位円や三角関数のグラフを利用して、三角関数の性質を調べようとする。 ・三角関数を含む方程式・不等式を解くことに取り組む意欲がある。 ・やや複雑な三角関数を含む関数の最大値・最小値を求めることに取り組む意欲がある。 ・加法定理を2点間の距離の公式を用いて証明しようとする。 ・加法定理を利用して、座標平面上の点の回転を考察することに関心をもち、具体的な問題に取り組もうとする。 ・同じ周期をもつ2つの関数 ・$y = \sin x$ と $y = \cos x$ を合成すると ・そのグラフは位相がずれた正弦曲線になることに興味・関心をもつ。</p>	<p>○ ○ ○</p>	<p>8</p>
<p>定期考査</p>			<p>○ ○</p>	<p>1</p>

第4章 三角関数
 第二節 加法定理
 6. 加法定理(3)
 7. 加法定理の応用(4)

第5章 指数関数と対数関数
 第1節 指数関数
 1. 指数の拡張(2)
 2. 指数関数(2.5)
 3. 対数とその性質(2)
 4. 対数関数(2.5)
 5. 常用対数(2)

第6章 微分法と積分法
 第1節 微分係数と導関数
 1. 微分係数(2)
 2. 導関数とその計算(3)

【知識及び技能】

- ・基本的な概念、原理、法則を理解する
- 【思考力、判断力、表現力等】
- ・数や式を目的に応じて変形する力
- 【主体的に学習に取り組む態度】
- ・問題解決の過程を振り返って考察を深めたり評価・改善する態度を養う。

- ・加法定理を理解し、それらを事象の考察に活用できるようにする。
- ・指数関数について理解し、それらを事象の考察に活用できるようにする。
- ・対数関数について理解し、それらを事象の考察に活用できるようにする。
- ・微分係数や導関数の意味について理解し、それらの有用性を認識するとともに、事象の考察に活用できるようにする。

・教科書・CONNECT

【知識・技能】

- ・加法定理を利用して、種々の三角関数の値を求めることができる。
- ・正接の加法定理を利用して、2直線のなす角を考えることができる。
- ・2倍角、半角の公式などを利用して、三角関数の値を求めたり、等式を証明したりすることができる。
- ・2倍角の公式を利用して、三角関数を含むやや複雑な方程式・不等式を解くことができる。
- ・合成後の変数のとる値の範囲に注意して、 $a\sin x + b\cos x = k$ の形の方程式を解くことができる。
- ・ x の関数 $y = a\sin x + b\cos x$ の式を変形して、関数の最大値・最小値を求めることができる。
- ・指数が整数の場合の累乗の定義を理解し、累乗の計算や、指数法則を利用した計算をすることができる。
- ・累乗根の定義を理解し、累乗根の計算ができる。
- ・指数が有理数の場合の累乗の定義を理解し、累乗の計算や、指数法則を利用した計算をすることができる。また、累乗根を含む計算では、分数指数を利用して計算することができる。
- ・指数が無理数の場合の累乗根の意味を理解することができる。
- ・指数関数のグラフの概形、特徴を理解している。
- ・底と1の大小に注意して、指数関数を含む不等式を解くことができる。
- ・ $a > 0$ に注意して、おき換えによって指数方程式・不等式を解くことができる。
- ・指数と対数とを相互に書き換えることができる。
- ・対数の定義を理解し、対数の値を求めることができる。
- ・対数の性質に基づいた種々の対数の値の計算ができる。
- ・底の変換公式を等式として利用できる。
- ・対数関数のグラフの概形、特徴を理解している。
- ・底と1の大小に注意して、対数関数を含む不等式を解くことができる。
- ・対数の性質を用いる際に、真数が正であることに着目できる。
- ・おき換えによって関数の最大・最小問題を解くことができる。
- ・正の数を $a \times 10^n$ の形に表現して、対数の値を求めることができる。
- ・常用対数の定義を理解し、それに基づいて種々の値を求めることができる。
- ・常用対数を利用して、桁数の問題や小数首位問題などを解くことができる。
- ・極限値を計算して微分係数を求めるとき、分母の h は0でないことを理解している。
- ・平均変化率、微分係数の定義を理解し、それらを求めることができる。
- ・微分係数の図形的意味を理解している。
- ・定義に基づいて導関数を求める方法を理解している。
- ・導関数の性質を利用して、種々の導関数の計算ができる。
- ・導関数を利用して微分係数が求められることを理解している。また、微分係数の値などから関数を決定することができる。

【思考・判断・表現】

- ・角を弧度法で表した場合にも、加法定理が適用できる。
- ・2倍角の公式を利用して、三角関数を含むやや複雑な方程式・不等式の角を統一して考えることができる。
- ・指数法則が成り立つように、指数の範囲を正の整数から実数にまで拡張していることを理解している。
- ・累乗根をグラフによって考察することができる。
- ・指数関数 $y = a^x$ のグラフが定点(0, 1)を通ることを理解している。
- ・指数関数の増減によって、大小関係や不等式・方程式を考察することができる。
- ・対数 $[\log]_a M$ が $M = a^p$ を満たす指数 p を表していることを理解している。
- ・指数法則から、対数の性質を考察することができる。
- ・対数と指数の関係から、両者のグラフが互いに直線 $y = x$ に関して対称であるという見方ができる。
- ・対数関数 $y = \log_a x$ のグラフが定点(1, 0)を通ることを理解している。
- ・対数関数の増減によって、大小関係や不等式・方程式を考察することができる。
- ・ n 桁の数、小数首位第 n 位の数を、不等式で表現することができる。
- ・平均変化率における x の変化量 h は負でもよいことを理解している。

○ ○ ○

		<ul style="list-style-type: none"> ・導関数を表す種々の記号を理解していて、それらを適切に使うことができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・授業中の宿題、定期考査前の課題を理解したうえで終わらせることができる。 ・考察しようとする力、自ら問題を理解し解決する意欲をつける。 ・加法定理を2点間の距離の公式を用いて証明しようとする。 ・加法定理を利用して、座標平面上の点の回転を考察することに興味をもち、具体的な問題に取り組もうとする。 ・同じ周期をもつ2つの関数 ・$y=\sin x$ と $y=\cos x$ を合成するとそのグラフは位相がずれた正弦曲線になることに興味・関心をもつ。 ・累乗根の性質に興味を示し、具体的に証明しようとする。 ・負の数のn乗根に興味を示し、具体的に理解しようとする。 ・指数関数のグラフの概形を、点をプロットしてかこうとする意欲がある。 ・指数と対数との相互関係に興味・関心をもつ。 ・やや複雑な対数方程式、対数不等式に積極的に取り組もうとする。 ・桁数や小数首位の問題を一般的に考察しようとする。 				
定期考査			○	○		1
<p>第6章 微分法と積分法</p> <p>第1節 微分係数と導関数</p> <p>3. 接線の方程式(1)</p> <p>第2節 関数の値の変化</p> <p>4. 関数の増減と極大・極小(3.5)</p> <p>5. 関数の増減・グラフの応用(3.5)</p> <p>第3節 積分法</p> <p>6. 不定積分(1.5)</p> <p>7. 定積分(3)</p> <p>8. 定積分と面積(5)</p> <p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・基本的な概念、原理、法則を理解する 【思考力、判断力、表現力等】 ・数や式を目的に応じて変形する力 【主体的に学習に取り組む態度】 ・問題解決の過程を振り返って考察を深めたり評価・改善する態度を養う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・微分係数や導関数の意味について理解し、それらの有用性を認識するとともに、事象の考察に活用できるようにする。 ・導関数の理解を深めるとともに、導関数の有用性を認識できるようにする。 ・積分の考えについて理解し、それらの有用性を認識するとともに、事象の考察に活用できるようにする。 <p>・教科書・CONNECT</p>	<p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・接点の x 座標が与えられたとき、接線の方程式を求めることができる。 ・接線の方程式の公式を利用して、接線の方程式を求めることができる。 ・曲線外の点から曲線に引いた接線の方程式の求め方を理解している。 ・導関数を利用して、関数の増減を調べることができる。 ・関数の増減や極値を調べるのに、増減表を書いて考察している。 ・導関数を利用して、関数の極値を求めたり、グラフをかいたりすることができる。 ・関数の極値が与えられたとき、関数を決定することができる。 ・導関数を利用して、関数の最大値・最小値を求めることができる。 ・最大・最小の応用問題では、変数のとり方、定義域に注意して解くことができる。 ・導関数を利用して、方程式の実数解の個数問題、不等式の証明問題を解くことができる。 ・不等式 $f(x) \geq 0$ を、関数 $y=f(x)$ の最小値が0以上と読み替えることができる。 ・不定積分の計算では、積分定数を書き漏らさずに示すことができる。 ・不定積分の定義や性質を理解し、それを利用する不定積分の計算方法を理解している。 ・与えられた条件を満たす関数を、不定積分を利用して求めることができる。 ・定積分の定義や性質を理解し、それを利用する定積分の計算方法を理解している。 ・定積分は定数であることを理解し、それを利用して、定積分を含む関数を求めることができる。 ・上端が変数 x である定積分で表された関数を微分して処理することができる。 ・直線や曲線で囲まれた部分の面積を、定積分で表して求めることができる。 ・上下関係が入れ替わる2つの曲線で囲まれた部分の面積を求めることができる。 ・絶対値のついた関数の定積分の計算方法を理解している。 <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・定点Cから曲線に接線を引くとき、接点Aにおける接線が点Cを通ると読み替えることができる。 ・接線の傾きで関数の増減が調べられることを理解している。 				

$f'(a)=0$ は、 $f(a)$ が極値であるための必要条件ではあるが、十分条件ではないことを理解している。
 ・最大値・最小値と極大値・極小値の違いを、意識して考察できる。
 ・方程式の実数解の個数を、関数のグラフと x 軸の共有点の個数に読み替えて考察できる。
 ・不等式を、関数のグラフと x 軸との上下関係に読み替えて、考察できる。
 ・微分法の逆演算としての不定積分を考察することができる。
 ・定積分の性質の等式を、左辺から右辺、右辺から左辺への変形として利用できる。
 ・上端が x である定積分を、 x の関数とみることができる。
 ・面積を求める際には、グラフの上下関係、積分範囲などを、図をかいて考察している。
 ・図形の対称性に着目した面積計算をすることができる。

【主体的に学習に取り組む態度】
 ・授業中の宿題、定期考査前の課題を理解したうえで終わらせることができる。
 ・考察しようとする力、自ら問題を理解し解決する意欲をつける。
 ・曲線外の点から曲線に引いた接線の方程式を求めようとする。
 ・関数の増減や極値を調べ、3次関数のグラフ、4次関数のグラフをできるだけ正しくかこうとする。
 ・身近にある最大値・最小値の問題を、微分法を利用して解決しようとする。
 ・方程式や不等式を関数的視点で捉え、微分法を利用して解決しようとする。
 ・積分法が微分法の逆演算であることから、不定積分を求めようとする。
 ・定積分の性質を利用して、計算がなるべく簡単になるように工夫して計算しようとする意欲がある。
 ・面積 $S(x)$ が関数 $f(x)$ の原始関数の1つであることに興味・関心をもち、考察しようとする。
 ・直線や曲線で囲まれた部分の面積を、定積分を用いて求めようとする。

定期考査

○

○

1

合計

100

武蔵丘 高等学校 令和8年度（2学年用） 教科 数学 科目 数学B

教科：数学 科目：数学B 単位数：2 単位

対象学年組：第2学年 6組～8組

使用教科書：（NEXT 数学B（数研出版））

教科 数学 の目標：

- 【知識及び技能】 事象を数学化したり、解釈したり、表現・処理をする技能を養う。
- 【思考力、判断力、表現力等】 論理的に考察し、表現する力を養い、事象の本質を統合的・発展的に考察する力も養う。
- 【学びに向かう力、人間性等】 数学の良さを認識する。また数学を活用し物事を判断する力とその粘り強さを養う。

科目 数学B の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
数列、統計的な推測についての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、数学と社会生活の関わりについて認識を深め、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。	離散的な変化の規則性に着目し、事象を数学的に表現し考察する力、確率分布や標本分布の性質に着目し、母集団の傾向を推測し判断したり、標本調査の方法や結果を批判的に考察したりする力、日常の事象や社会の事象を数学化し、問題を解決したり、解決の過程や結果を振り返って考察したりする力を養う。	数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度、粘り強く柔軟に考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
第1章 数列 第1節 等差数列と等比数列 1. 数列と一般項(1) 2. 等差数列(1) 3. 等差数列の和(2) 4. 等比数列(2) 5. 等比数列の和(2) 【知識及び技能】 ・基本的な概念、原理、法則を理解する 【思考力、判断力、表現力等】 ・数や式を目的に応じて変形する力 【主体的に学習に取り組む態度】 ・問題解決の過程を振り返って考察を深めたり評価・改善する態度を養う。	・数列やその一般項の表し方について理解する。また、基本的な数列として等差数列と等比数列を理解し、それらの和を求められるようにする。また、これらの数列を様々な事象の考察に役立てようとする姿勢を養う。 ・教科書・CONNECT	【知識・技能】 ・数列の定義、表記について理解している。 ・数列に関する用語記号を適切に用いることができる。 ・等差数列の公差、一般項などを理解している。 ・初項と公差を文字で表して、条件から数列の一般項を決定できる。 ・数列が等差数列であることを証明できる。 ・等差数列の和の公式を適切に利用して、数列の和が求められる。 ・自然数の和、奇数の和、偶数の和などが求められる。 ・等比数列の公比、一般項などを理解している。 ・初項と公比を文字で表して、条件から数列の一般項を決定できる。 ・等比数列の和の公式を、適切に利用して数列の和が求められる。 ・等比数列の和の公式を利用して、和の値から数列の一般項を求めることができる。 【思考・判断・表現】 ・数の並び方からその規則性を推定して、数列の一般項を考察できる。 ・等差数列の項を書き並べて、隣接する項の関係が考察できる。 ・等差数列の和を工夫して求める方法について考察できる。 ・項の正負と数列の和の増減の関係から、等差数列の和の最大、最小について考察することができる。 ・等比数列の項を書き並べて、隣接する項の関係が考察できる。 ・等比数列の和を工夫して求める方法について考察できる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・授業中の宿題、定期考査前の課題を理解したうえで終わらせることができる。 ・考察しようとする力、自ら問題を理解し解決する意欲をつける。 ・数の並び方に興味をもち、その規則性を発見しようとする意欲がある。 ・等差中項の性質に興味をもち、問題解決に取り組もうとする。 ・等差数列の和を工夫して求める方法に興味をもち、等差数列の和の公式を導こうとする意欲がある。 ・等比中項の性質に興味をもち、問題解決に利用しようとする。 ・等比数列の和を工夫して求める方法に興味をもち、等比数列の和の公式を導こうとする意欲がある。 ・複利計算に興味・関心をもち、具体的な問題に取り組もうとする。	○	○	○	8
定期考査			○	○		1

1 学 期	<p>第1章 数列 第2節 いろいろな数列 6. 和の記号Σ(2) 7. 階差数列(1) 8. いろいろな数列の和(1) 9. 漸化式(4) 10. 数学的帰納法(2)</p> <p>【知識及び技能】 ・基本的な概念、原理、法則を理解する 【思考力、判断力、表現力等】 ・数や式を目的に応じて変形する力 【主体的に学習に取り組む態度】 ・問題解決の過程を振り返って考察を深めたり評価・改善する態度を養う。</p>	<p>・和の記号Σの表し方や性質を理解し、活用できるようにする。また、いろいろな数列について、その一般項や和を求めたり、和から一般項を求めたりできるようにする。</p> <p>・数列の帰納的な定義について理解し、漸化式から一般項が求められるようにするとともに、複雑な漸化式を既知のものに帰着して考えられるようにする。また、数学的帰納法の仕組みを理解し、様々な命題の証明に活用できるようにする。</p> <p>・教科書・CONNECT</p>	<p>【知識・技能】 ・記号Σの意味と性質を理解し数列の和が求められる。 ・第k項をkの式で表して、初項から第n項までの和が求められる。 ・階差数列を利用してもとの数列の一般項が求められる。 ・数列の和S_nと第n項a_nの関係を理解し、数列の一般項が求められる。 ・階差数列利用、和S_n利用では、初項の扱いに注意して一般項が求められる。 ・和の求め方の工夫をして、数列の和が求められる。 ・漸化式の意味を理解し、具体的に項を求めることができる。 ・漸化式を適切に変形して、その数列の特徴を考察することができる。 ・おき換えを利用して、漸化式から一般項を求めることができる。 ・初項と漸化式から数列の一般項が求められる。 ・数学的帰納法を用いて等式、不等式、自然数に関する命題を証明できる。 ・$n \geq k$の場合に成り立つ不等式を、数学的帰納法を用いて証明できる。 ・ある整数の倍数であることを文字を用いて表現できる。</p> <p>【思考・判断・表現】 ・数列の和を記号Σで表して、和の計算を簡単に行うことができる。 ・和Σrkについて、既に学んだ等比数列の和と捉えて求めることができる。 ・数列の規則性の発見に階差数列が利用できる。 ・初項から第n項までの和に着目し一般項を考察できる。 ・群数列を理解し、ある特定の群に属する数の和が求められる。 ・初項と漸化式を用いて数列を定義できることを理解している。 ・複雑な漸化式を、おき換えなどを用いて既知の漸化式に帰着して考えることができる。 ・自然数nに関する命題の証明には、数学的帰納法が有効であることを理解している。 ・数学的帰納法で証明した命題について、別の方法で証明してそれらを比較するなど、多面的に考察することができる。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 ・授業中の宿題、定期考査前の課題を理解したうえで終わらせることができる。 ・考察しようとする力、自ら問題を理解し解決する意欲をつける。 ・自然数の和の公式を用いて自然数の2乗の和の公式が導けることに興味をもち、自然数の3乗の和の公式を導こうとする。また、さらに高い次数の累乗の和の公式についても考察しようとする。 ・p数列の規則性を、隣り合う2項の差を用いて発見しようとする。 ・$f(k+1) - f(k)$を用いる和の求め方に興味をもち、具体的な問題に活用しようとする。 ・群数列に興味をもち、考察しようとする。 ・おき換えや工夫を要する複雑な漸化式について、考察しようとする。 ・$a_{n+1} = pa_n + q$を満たす数列の階差数列について、具体的に考察しようとする。 ・具体的な事象の考察に、漸化式を積極的に活用しようとする。 ・数学的帰納法を利用して、いろいろな事柄を積極的に証明しようとする。</p>	○	○	○	10
	定期考査			○	○		1

<p>第2章 統計的な推測 第1節 確率分布 1. 確率変数と確率分布(1) 2. 確率変数の期待値と分散(4) 3. 確率変数の和と積(4) 4. 二項分布(3)</p> <p>【知識及び技能】 ・基本的な概念、原理、法則を理解する 【思考力、判断力、表現力等】 ・数や式を目的に応じて変形する力 【主体的に学習に取り組む態度】 ・問題解決の過程を振り返って考察を深めたり評価・改善する態度を養う。</p>	<p>・確率変数と確率分布について理解し、期待値や分散、標準偏差などを求めることを通じて、分布の特徴を把握できるようにする。また、連続型確率変数についても理解し、正規分布を様々な日常の事象の考察に活用できるようにする。</p> <p>・教科書・CONNECT</p>	<p>【知識・技能】 ・確率変数や確率分布について、用語の意味を理解している。 ・確率変数の確率分布を求めることができる。 ・確率変数の期待値、分散、標準偏差を求めることができる。 ・確率変数の期待値$E(X)$や分散$V(X)$などの計算式を理解して活用することができる。 ・同時分布の意味を理解し、2つの確率変数の同時分布を求めることができる。 ・確率変数の和の期待値を、公式を利用して求めることができる。 ・複雑な確率分布の期待値を、確率変数の和の期待値の公式などを利用して求めることができる。 ・確率変数の独立について理解している。 ・独立な確率変数の積の期待値を、公式を利用して求めることができる。 ・独立な確率変数の和の分散を、公式を利用して求めることができる。 ・反復試行の結果を二項分布を用いて表す。 ・二項分布に従う確率変数の期待値や分散を求めることができる。</p> <p>【思考・判断・表現】 ・試行の結果を確率分布で表すことの意味がとらえられている。 ・確率変数の期待値、分散、標準偏差などを用いて確率分布の特徴を考察することができる。 ・確率変数の積の期待値や和の分散と確率変数の性質との相互関係がとらえられている。 ・具体的な事象を二項分布として捉え、考察することができる。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 ・授業中の宿題、定期検査前の課題を理解したうえで終わらせることができる。 ・考察しようとする力、自ら問題を理解し解決する意欲をつける。 ・確率的な試行の結果を表すのに確率分布を用いることよき気づき、確率分布について積極的に考察しようとする。 ・確率変数の期待値、分散に関する種々の公式を、その定義や既知の公式を用いて導こうとする。 ・2つの確率変数の和や積の期待値、分散に関する種々の公式を、確率変数が独立であるかどうか注意しながら導こうとする。 ・二項分布に興味・関心をもち、さいころを投げるなどの具体的事項について考察しようとする。 ・二項分布に従う確率変数の期待値、分散、標準偏差の公式について、確率分布の定義から導こうとする。 ・二項分布のグラフに関心をもち、調べてみようとする。</p>	<p>○</p>	<p>○</p>	<p>○</p>	<p>12</p>
<p>定期検査</p>			<p>○</p>	<p>○</p>		<p>1</p>
<p>第2章 統計的な推測 第1節 確率分布 5. 正規分布(3)</p> <p>【知識及び技能】 ・基本的な概念、原理、法則を理解する 【思考力、判断力、表現力等】 ・数や式を目的に応じて変形する力 【主体的に学習に取り組む態度】 ・問題解決の過程を振り返って考察を深めたり評価・改善する態度を養う。</p>	<p>・確率変数と確率分布について理解し、期待値や分散、標準偏差などを求めることを通じて、分布の特徴を把握できるようにする。また、連続型確率変数についても理解し、正規分布を様々な日常の事象の考察に活用できるようにする。</p> <p>・教科書・CONNECT</p>	<p>【知識・技能】 ・確率密度関数や分布曲線の定義を理解し、連続型確率変数について、確率を求めることができる。 ・正規分布に従う確率変数Xを標準正規分布に従う確率変数Zに変換できる。 ・標準正規分布に従う確率変数Zについての確率を求めることができる。 ・標準正規分布表を用いて、正規分布に関する確率の計算ができる。 ・日常の身近な問題を統計的に処理するのに、正規分布を利用できる。 ・二項分布に従う確率変数に関する確率の計算を、正規分布に従う確率変数で近似して求めることができる。 ・連続的な確率変数について理解し、その期待値と分散が求められる。</p> <p>【思考・判断・表現】 ・正規分布の特徴を理解し、様々な視点から</p>				

		<p>とらえることができる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・正規分布を活用して現実のデータについて考察することができる。 <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・授業中の宿題、定期考査前の課題を理解したうえで終わらせることができる。 ・考察しようとする力、自ら問題を理解し解決する意欲をつける。 ・連続型確率変数について、離散型確率変数との違いに注目して捉えようとする。 ・現実のデータが正規分布に近い分布になることがあることに興味をもち、様々なデータについて考察しようとする。 ・二項分布について、試行の回数nを大きくしたときの分布曲線の変化をコンピュータで見るとして、正規分布に近づいていく様子を自ら確かめようとする。 	○	○	○	3
<p>第2章 統計的な推測 第2節 統計的な推測 6. 母集団と標本(2) 7. 標本平均の分布(3) 8. 推定(2) 9. 仮説検定(2)</p> <p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・基本的な概念、原理、法則を理解する <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・数や式を目的に応じて変形する力 <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・問題解決の過程を振り返って考察を深めたり評価・改善する態度を養う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・母集団と標本、標本平均について理解し、特に標本平均については、それが確率変数であることを正しく理解した上で考察できるようにする。また、母平均や母比率の推定、正規分布を用いた仮説検定ができるようにし、それらを日常の事象の考察や様々な判断に積極的に活用しようとする態度を育てる。 <p>・教科書・CONNECT</p>	<p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・復元抽出と非復元抽出について理解している。 ・母集団分布と大きさ1の無作為標本の確率分布が一致することを理解し、母平均、母標準偏差を求めることができる。 ・標本平均が確率変数であることを理解している。 ・母平均と母標準偏差から標本平均の期待値と標準偏差を求めることができる。 ・標本平均の分布を正規分布で近似して確率を求めることができる。 ・標本比率が二項分布に従う仕組みを理解し、正規分布で近似することで標本比率についての確率を求めることができる。 ・推定に関わる用語・記号を適切に活用することができる。 ・信頼区間の考え方をを用いて、母平均や母比率の推定ができる。 ・仮説検定に関わる用語を適切に活用することができる。 ・仮説検定の考え方をを用いて、日常の身近な事象に対する主張を検定することができる。 <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・母集団分布と大きさ1の無作為標本の確率分布が一致することについて考察できる。 ・母平均と母標準偏差の考え方や標本平均の期待値と標準偏差の考え方がわかる。 ・標本の大きさnを大きくしたとき、標本平均がどのような分布になるか直感的に理解した上で、標本平均の値がどの範囲にどれくらいの確率で現れるか推測できることを理解している。 ・大数の法則について理解し標本の大きさnが大きくなるときの標本平均の分布の変化の様子を考察できる。 ・推定や信頼区間の考え方がわかる。 ・仮説検定の考え方がわかる。 ・片側検定と両側検定の違いを理解し、どちらの検定をするか正しく判断できる。 <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・授業中の宿題、定期考査前の課題を理解したうえで終わらせることができる。 ・考察しようとする力、自ら問題を理解し解決する意欲をつける。 ・現実に行われている様々な調査が全数調査か標本調査か、またその方法を採用しているのはなぜかに興味をもち、それぞれの調査の特徴を調べたり考えたりしようとする。 ・母集団や標本の特徴を理解しようとする。 ・大数の法則に興味をもち、標本の大きさnが大きくなる時の分布曲線の変化を、コンピュータなどを用いて積極的に調べようとする。 ・母平均や母比率の推定に関心を示し、信頼 	○	○	○	9

		区間の幅と標本の大きさや信頼度との関係を考察しようとする。 ・仮説検定によって様々な判断ができることに興味をもち、現実の問題の解決に役立てようとする。					
定期考査			○	○		1	
3 学 期	<p>第3章 数学と社会生活</p> <p>1. 数学を活用した問題(3)</p> <p>2. 社会の中にある数学(4)</p> <p>3. 変化をとらえる(4) ～移動平均～</p> <p>4. 変化をとらえる(4) ～回帰分析～</p> <p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・基本的な概念、原理、法則を理解する <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・数や式を目的に応じて変形する力 <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・問題解決の過程を振り返って考察を深めたり評価・改善する態度を養う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・社会生活などにおける問題を、数学を活用して解決する意義について理解するとともに、日常の事象や社会の事象などを数学化し、数理的に問題を解決する方法を知り、積極的に数学を活用する姿勢を培う。 ・教科書・CONNECT 	<p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日常生活における問題や社会問題を数学的に考察するときの手順を理解している。 ・数学的に問題を解決するのに必要な数値や関数は、調査結果を用いて妥当な値を仮定できることを理解する。 ・与えられた情報を正しく読み取り、限定的な状況で費用の比較ができる。 ・選挙における議席の割り振り方を理解し、与えられた手順通りに割り振ることができる。 ・トリム平均を用いた採点方法を理解し、トリム平均を計算して採点結果を出すことができる。 ・移動平均を用いると長期的な変化の傾向が調べやすくなることを理解している。 ・移動平均を求めて折れ線グラフに表すことができる。 ・散布図について理解し傾向を読み取ることができる。 ・回帰直線を利用して、観測していないデータを予測することができる。 ・現象やデータによって、回帰分析に2次関数など回帰直線以外を用いた方がよりよい予測ができる場合があることを理解している。 ・対数目盛の定義と、どのようなときに使うとよいかについて理解している。 ・対数目盛を用いた散布図がかける。 <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・問題解決の過程や結果の妥当性について批判的に考察し、別の仮定を立てて考察することができる。 ・問題の解決に関数を活用することができる。 ・問題を解決するのにグラフを活用することができる。 ・1日ごとに変化する量について、漸化式を活用して考察できる。 ・議席の割り振り方について、議席総数を変更したときの変化に注目し、その特徴を考察できる。 ・トリム平均の特徴から、スポーツの採点競技にトリム平均を用いる理由を考察できる。 ・周期的に増減するデータで移動平均を考える場合は、その目的によって適切な範囲での移動平均を考えることが重要であることを、その理由とともに理解している。 ・もとのデータのグラフと移動平均のグラフの関係を理解し、正しく判断ができる。 ・散布図に表したデータを関数とみなして処理できることを、回帰直線の意味とともに理解している。 ・最小2乗法を用いて、回帰直線の方程式を導くことができる。 ・2次関数など回帰直線以外を用いて回帰分析ができる。 ・対数目盛において直線上に並ぶ点やその傾きの意味について理解し、事象の特徴を考察できる。 <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・授業中の宿題、定期考査前の課題を理解したうえで終わらせることができる。 ・考察しようとする力、自ら問題を理解し解決する意欲をつける。 ・社会生活における問題について、学んだ 	○	○	○	15

武蔵丘 高等学校 令和8年度（2学年用） 教科 理科 科目 物理基礎

教科：理科

科目：物理基礎

単位数：2 単位

対象学年組：第 2 学年

使用教科書：（ 物理基礎（数研出版） ）

教科 物理基礎 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
科学的知識及び技能が身に着いたかを定期考査で評価する。	科学的思考力・判断力・表現力等が身に着いたかを定期考査で評価する。	科学的に学びに向かう力、人間性等が身に着いたかを定期考査・提出物で評価する。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数	
科学的思考力を育成する。	力学	定期考査 提出物	○	○	○	20	20
	波動		○	○	○	15	15
	エネルギー		○	○	○	10	10
	熱・電気		○	○	○	5	5

武蔵丘 高等学校 令和8年度（2学年用） 教科 理科 科目 化学

教科：理科 科目：化学 単位数：4 単位

対象学年組：第 2 学年 理系選択者

使用教科書：（「化学 academia」 「化学基礎 academia」 美教出版 ）

教科 理科 の目標：

【知識及び技能】自然の事物・現象についての理解を深め、科学的に探究するために必要な観察、実験などに
関する技能を身に付けようとする。

【思考力、判断力、表現力等】観察、実験などを行い、科学的に探究する力を養う。

【学びに向かう力、人間性等】自然の事物・現象に主体的にかかわり、科学的に探究しようとする態度を養う。

科目 化学 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
・化学に関する事物・現象について、基本的な概念や、原理・法則を理解している。 ・観察、実験を行い、基本操作を習得するとともに、それらの過程や結果を的確に記録、整理し、化学に関する事物・現象を科学的に探究する技能を身に付けている。	・化学的な事物・現象に問題を見出し、研究する過程を通して、事象を科学的に考察し、導き出した考えを的確に表現している。	・化学的な事物・現象に関心や探究心を持ち、意欲的にそれらを探究しようとするとともに、科学的態度を身に付けている。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配 当 時 数
1 学 期	物質の変化と平衡 物質の状態と平衡	化学反応と電気エネルギー 状態変化	定期考査・小テスト・実験レポートやノートなどの提出物および授業の取り組み状況を総合的に判断する。	○	○	○	25
	物質の状態と平衡	気体の性質 溶液	定期考査・小テスト・実験レポートやノートなどの提出物および授業の取り組み状況を総合的に判断する。	○	○	○	25
2 学 期	物質の状態と平衡 物質の変化と平衡	固体の構造 化学反応と熱・光エネルギー	定期考査・小テスト・実験レポートやノートなどの提出物および授業の取り組み状況を総合的に判断する。	○	○	○	30
	物質の変化と平衡	反応の速さとしくみ 化学平衡	定期考査・小テスト・実験レポートやノートなどの提出物および授業の取り組み状況を総合的に判断する。	○	○	○	20
3 学 期	有機化合物	有機化合物とその構造 脂肪族炭化水素 酸素を含む脂肪族化合物	定期考査・小テスト・実験レポートやノートなどの提出物および授業の取り組み状況を総合的に判断する。	○	○	○	40

武蔵丘 高等学校 令和8年度（2学年用） 教科 芸術 科目 音楽Ⅱ

教科：芸術 科目：音楽Ⅱ 単位数：2 単位

対象学年組：第2学年 1組～8組

使用教科書：（教育芸術社MOUSA2）

教科 芸術 の目標：

- 【知識及び技能】 芸術に関する各科目の特質について理解するとともに、意図に基づいて表現するための技能を身に付けるようにする。
- 【思考力、判断力、表現力等】 創造的な表現を工夫したり、芸術のよさや美しさを深く味わったりすることができるようにする。
- 【学びに向かう力、人間性等】 生涯にわたり芸術を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、心豊かな生活や社会を創造していく態度を養い、豊かな情操を培う。

科目 音楽Ⅱ の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
曲想と音楽の構造や、文化歴史的背景等と関わり及び本学の多様性について理解するとともに、創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な技能を身に付ける。	自己のイメージを持って音楽表現を創意工夫することや、音楽を評価しながら、良さや美しさを自ら味わって聴くことができるようにする。	主体的、共同的に音楽の幅広い活動に取り組み、生涯にわたり音楽を愛好する心情を育むとともに感性を高め、音楽文化に親しみ、音楽によって生活や社会を明るく豊かなものにしていく態度を養う。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	表現			鑑賞	評価規準	知	思	態	配当 時数
		歌	器	創						
1 学 期	曲想を感じ取って、曲に相応しい発声で歌おう。 【知識及び技能】 曲に相応しい発声、言葉の発音、身体の使い方などの技能を身に付ける。 【思考力、判断力、表現力等】 曲想と音楽の構造や歌詞との関わり、及びその関わりによって生み出される表現上の効果を理解する。 【学びに向かう力、人間性等】 個性豊かに歌唱表現を創意工夫する。	・ 歌曲 ・ ソルフェージュ	○		○	【知識及び技能】 曲に相応しい発声、言葉の発音、身体の使い方などの技能を身に付けているか。 【思考力、判断力、表現力等】 曲想と音楽の構造や歌詞との関わり、及びその関わりによって生み出される表現上の効果を理解しているか。 【学びに向かう力、人間性等】 個性豊かに歌唱表現を創意工夫しているか。	○	○	○	6
	表現を工夫してギターを演奏しよう。 【知識及び技能】 曲に相応しい奏法、身体の使い方などの技能を身に付ける。 【思考力、判断力、表現力等】 曲想とギターの音色や奏法との関わり、及びその関わりによって生み出される表現上の効果を理解する。 【学びに向かう力、人間性等】 個性豊かに器楽表現を創意工夫する。	・ ギターの弾き語り	○	○	○	【知識及び技能】 曲に相応しい奏法、身体の使い方などの技能を身に付けているか。 【思考力、判断力、表現力等】 曲想とギターの音色や奏法との関わり、及びその関わりによって生み出される表現上の効果を理解しているか。 【学びに向かう力、人間性等】 個性豊かに器楽表現を創意工夫しているか。	○	○	○	6
	ポップスの特徴を理解して歌おう。 【知識及び技能】 曲に相応しい発声、言葉の発音、身体の使い方などの技能を身に付ける。 【思考力、判断力、表現力等】 曲想と音楽の構造や歌詞、文化的背景との関わり、及びその関わりによって生み出される表現上の効果を理解する。 【学びに向かう力、人間性等】 個性豊かに歌唱表現を創意工夫する。	・ ポピュラー音楽の歌唱	○		○	【知識及び技能】 曲に相応しい発声、言葉の発音、身体の使い方などの技能を身に付けているか。 【思考力、判断力、表現力等】 曲想と音楽の構造や歌詞、文化的背景との関わり、及びその関わりによって生み出される表現上の効果を理解しているか。 【学びに向かう力、人間性等】 個性豊かに歌唱表現を創意工夫しているか。	○	○	○	6
	表現を工夫してリコーダーを演奏しよう。 【知識及び技能】 曲に相応しい奏法、身体の使い方などの技能、及び他者との調和を意識して演奏する技能を身に付けている。 【思考力、判断力、表現力等】 曲想とリコーダーの音色や奏法との関わり、及びその関わりによって生み出される表現上の効果を理解する。 【学びに向かう力、人間性等】 個性豊かに器楽表現を創意工夫する。	・ リコーダーの楽曲			○	【知識及び技能】 曲に相応しい奏法、身体の使い方などの技能、及び他者との調和を意識して演奏する技能を身に付けているか。 【思考力、判断力、表現力等】 曲想とリコーダーの音色や奏法との関わり、及びその関わりによって生み出される表現上の効果を理解しているか。 【学びに向かう力、人間性等】 個性豊かに器楽表現を創意工夫しているか。	○	○	○	6
2 学 期	日本の伝統音楽と郷土の芸能について知ろう。 【知識及び技能】 曲に相応しい発声、言葉の発音、身体の使い方などの技能を身に付ける。 【思考力、判断力、表現力等】 長唄の言葉の特性と曲種に応じた発声との関わり、及びその関わりによって生み出される表現上の効果と日本の伝統音楽や郷土の芸能の特徴を理解する。 【学びに向かう力、人間性等】 音楽表現の共通性や固有性について考え、音楽のよさや美しさを深く味わって聴いたり、個性豊かに歌唱表現を創意工夫したりする。	・ 日本の伝統音楽	○		○	【知識及び技能】 曲に相応しい発声、言葉の発音、身体の使い方などの技能を身に付けているか。 【思考力、判断力、表現力等】 長唄の言葉の特性と曲種に応じた発声との関わり、及びその関わりによって生み出される表現上の効果と日本の伝統音楽や郷土の芸能の特徴を理解しているか。 【学びに向かう力、人間性等】 音楽表現の共通性や固有性について考え、音楽のよさや美しさを深く味わって聴いたり、個性豊かに歌唱表現を創意工夫したりしているか。	○	○	○	8
	和楽器に親しみ、表現を工夫して演奏しよう。 【知識及び技能】 曲にふさわしい奏法、身体の使い方などの技能を身に付ける。 【思考力、判断力、表現力等】 曲想と和楽器の音色や奏法との関わり、及びその関わりによって生み出される表現上の効果を理解する。 【学びに向かう力、人間性等】 個性豊かに器楽表現を創意工夫する。	・ 箏の楽曲		○	○	【知識及び技能】 曲に相応しい奏法、身体の使い方などの技能を身に付けているか。 【思考力、判断力、表現力等】 曲想と和楽器の音色や奏法との関わり、及びその関わりによって生み出される表現上の効果を理解しているか。 【学びに向かう力、人間性等】 個性豊かに器楽表現を創意工夫しているか。	○	○	○	8
	ミュージカル・ナンバーを歌おう。 【知識及び技能】 曲に相応しい発声、言葉の発音、身体の使い方などの技能を身に付ける。 【思考力、判断力、表現力等】 曲想と音楽の構造や歌詞との関わり、及びその関わりによって生み出される表現上の効果を理解する。 【学びに向かう力、人間性等】 音楽のよさや美しさを深く味わって聴いたり、個性豊かに歌唱表現を創意工夫したりする。	・ ミュージカルナンバーの歌唱	○		○	【知識及び技能】 曲に相応しい発声、言葉の発音、身体の使い方などの技能を身に付けているか。 【思考力、判断力、表現力等】 曲想と音楽の構造や歌詞との関わり、及びその関わりによって生み出される表現上の効果を理解しているか。 【学びに向かう力、人間性等】 音楽のよさや美しさを深く味わって聴いたり、個性豊かに歌唱表現を創意工夫しているか。	○	○	○	8

武蔵丘 高等学校 令和8年度（2学年用） 教科 芸術 科目 美術Ⅱ

教科： 0 科目： 美術Ⅱ 単位数： 2 単位

対象学年組： 第 2 学年 1 組～ 8 組

使用教科書： (『高校生の美術Ⅱ』)

教科 芸術 の目標：

【知識及び技能】画材の基本的な使用法に一層習熟する。

【思考力、判断力、表現力等】視覚を中心とした感性を動員し、美を表現し味わう体験を重ね表現の豊かさを身に着ける。

【学びに向かう力、人間性等】美を愛好し生活の中で美しさを追求する姿勢を尊び、自らの生活の中に美を発見する姿勢を培う。

科目 美術Ⅱ の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
アクリル・ガッシュ、マスキングテープ、ケント紙・洋紙等の支持体の特性をよく活用する。また古今東西の名作について1年次学習よりさらに興味の幅を拡大し、鑑賞を通して作品の良さと美術史的意義を理解する。	芸術的思考力といえる「自己の視覚」を中心とした五感を動員し、ヴィジュアルデザインの諸要素を理解、駆使したり木彫を通して魅力的な作品制作に取り組む。また共同制作の意義をよく理解し校内の中核として完成への表現活動を深化し取り組む。	2年次生として1年次の学習を基礎として、美と接することをさらに愛好し生活の中で美しさを追求する姿勢を培う。自身と他者の作品、古今の名作等の鑑賞に対し主体的・積極的な態度を養う。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
オリエンテーション 【知識及び技能】 ・年間の授業の受け方やリズムや美術教室や用具の基本的な種類を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 ・中学校までで習得した描写力を発揮する。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・意欲的にオリエンテーションに参加し履修する仲間と前向きな受講をする態度を養う。	・自己紹介 ・レタリング	【知識及び技能】 ・指示通りの移動や用具の準備を行える。 【思考力、判断力、表現力等】 ・中学校までに学んだレタリング表現を復習し、デザイン表現の巧緻性を発揮できる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・自己紹介を通じて、主体的に仲間や用具と関わるができる。	○	○	○	2
ポスター制作 【知識及び技能】 ・マスキングテープやアクリル・ガッシュ等用具の使用における応用を学ぶ。 ・単元の目的を理解し、画用紙に正しく設定寸法の画面を描出する。 【思考力、判断力、表現力等】 ・自ら表出したいポスター表現について色鉛筆や配色カードを駆使して試行から決定、完成へのプロセスをなぞる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・多くアイデアスケッチを作成し本番の完成度を高める。	・八つ切り画用紙への「文化祭ポスター」	【知識及び技能】 ・正しく設定を理解しその設定に沿って、効果的なグラフィック表現を駆使しイメージに合わせた構成ができる。 【思考力、判断力、表現力等】 ・学んだレタリングや色彩の要素を駆使しながら魅力的なレイアウトの構成を描出できる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・インターネット等を使用して積極的に様々なポスター表現を参考にできる。 ・自己や他者の作品に関心を持ちよいところを取り入れることができる。	○	○	○	10
新聞ファッションショー 【知識及び技能】 ・共同制作のモチーフを足がかりに19世紀西洋美術について調べ新しい知識とする。 【思考力、判断力、表現力等】 ・自らが美しいと思う19世紀西洋美術の作品を決めて調べる際に、その美しさについて自分の言葉で表現する。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・仲間と共に主体的に題材選定やプレゼンテーションを行う。	インターネット等による調べ学習と発表（班別）	【知識及び技能】 ・教科書や図書館、端末等、調査の方法を十分に駆使できている。 【思考力、判断力、表現力等】 ・テーマとした作品について自分の言葉で発表・表現できる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・最後まで協調性をもって学習に臨んでいる。	○	○	○	2
ウッディ粘土で模刻 【知識及び技能】 ・モチーフの構造を理解し、造形することができる。 【思考力、判断力、表現力等】 ・モチーフの美しさを理解し、質感表現をすることができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・モチーフをよく観察し、最後まで作り上げることができる。	・ウッディ粘土による造形と彫刻刀を使用した質感表現。	【知識及び技能】 ・ウッディ粘土の特徴を理解し、木の質感と艶を生かして制作することができる。 【思考力、判断力、表現力等】 ・モチーフの造形に合わせて、彫刻刀を使い分け、表現することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・最後まで粘り強く造形することができる。	○	○	○	12
武蔵丘高校CM制作 【知識及び技能】 ・伝達したい内容を焦点化し、直感的に理解しやすい構成にすることができる。 【思考力、判断力、表現力等】	Microsoft Clipchamp	【知識及び技能】 ・教科書や図書館、端末等、調査の方法を十分に駆使できている。 【思考力、判断力、表現力等】 ・テーマとした作品について自分の言葉で発表				

	<ul style="list-style-type: none"> 映像メディア機器を利用し、色調補正や場面構成などの様々な工夫を凝らしながら表現することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 役割を理解し、試作を繰り返しながら協議を重ね、追及することができる。 		<ul style="list-style-type: none"> 表・表現できる。 【主体的に学習に取り組む態度】 最後まで協調性をもって学習に臨んでいる。 	○	○	○	14
3 学 期	<p>油彩画</p> <p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> 油彩画特有の用具について把握し正しい用具の使用法を学ぶ。 美術史の知識を総動員し、好きな西洋油彩画を19世紀までの物から選ぶ。 <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> モチーフを十分に見つめ、ヴァルールやトーンを工夫して美しく模写することを学ぶ。 <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> 完成まであきらめずに取り組む。用具の片付け作業を次回への備えとし他者への配慮も学ぶ。 	F10号のキャンバスを使い自ら選定した名画を油彩絵具で模写	<p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> 筆・キャンバス・オイル等油彩画特有の用具と地塗りの効果等について正しく把握している。 原画のサイズを意識し、特に縦横比とF10キャンバスの整合をとって升目入れを行えている。 <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> 油彩絵具の持つ質量を活用し重量感と存在感のある静物写生を実践している。 <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> 他者作品をよく参考にし、描き始めから完成まで常に良いものを取り入れる姿勢を養う。 	○	○	○	12
							合計
							52

武蔵丘 高等学校 令和8年度（2 学年用） 教科 外国語 科目 英語コミュニケーションⅡ

教科：外国語 科目：英語コミュニケーションⅡ 単位数：4 単位

対象学年組：第2 学年 1 組～ 8 組

使用教科書：（LANDMARK Fit English CommunicationⅡ（CⅡ714））

教科 外国語 の目標：

- 【知識及び技能】英語の特徴やきまりに関する事項を理解し、コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、日常的な話題や社会的な話題について話された文等を聞いて、その内容を捉える技能を身に付ける。
- 【思考力、判断力、表現力等】コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、日常的な話題や社会的な話題について、必要な情報を聞き取り、話し手の意図や概要、要点を捉えることができる。
- 【学びに向かう力、人間性等】外国語の背景にある文化に対する理解を深め、話し手に配慮しながら、主体的、自律的に英語で話されることを聞こうとしている。

科目 英語コミュニケーションⅡ の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
日常的・社会的な話題について、使用される語句や文、情報量などにおいて、必要な情報を読み取り、書き手の意図を把握したり、概要や要点を目的に応じて捉えたりすることができるようになる。	日常的・社会的な話題について、使用する語句や文、事前の準備などにおいて、基本的な語句や文を用いて、情報や考え、気持ちなどを論理性に注意して伝えることができるようになる。	外国語の背景にある文化に対する理解を深め、話し手に配慮しながら、主体的、自律的に英語で表現したり、コミュニケーションを取ることができる。多読活動を通じて、自分の興味のある本を読み、英語力を高める。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	領域				評価規準	知	思	態	配 当 時 数
		聞	読	話 （ や ）	話 （ 発 ）					
Lesson 1 A Swedish Girl's Discoveries in Japan 【知識及び技能】スウェーデン人漫画家について、一定の支援を活用すれば、必要な情報を読み取り、文章の展開、概要や要点などを把握する。 【思考力、判断力、表現力等】日本のアニメや漫画、およびスウェーデン人漫画家の漫画について、一定の支援を活用すれば、多様な語句や文を用いて、情報や考えなどを詳しく話して伝え合うやり取りを続ける。 【学びに向かう力、人間性等】スウェーデン人漫画家の漫画について、一定の支援を活用すれば、多様な語句や文を用いて、情報や考えなどを論理性に注意して詳しく話して伝える。	・教科書、副教材 ・小テスト ・英検英作文、面接模擬試験 ・一人1 台端末の活用	○	○	○	○					18
		【知識及び技能】スウェーデン人漫画家について、一定の支援を活用すれば、必要な情報を読み取り、文章の展開、概要や要点などを把握することができる。 【思考力、判断力、表現力等】日本のアニメや漫画、およびスウェーデン人漫画家の漫画について、一定の支援を活用すれば、多様な語句や文を用いて、情報や考えなどを詳しく話して伝え合うやり取りを続けることができる。 【学びに向かう力、人間性等】スウェーデン人漫画家の漫画について、一定の支援を活用すれば、多様な語句や文を用いて、情報や考えなどを論理性に注意して詳しく話して伝えることができる。								
Lesson 2 A Message from Emperor Penguins 【知識及び技能】コウテイペンギンの生態について、一定の支援を活用すれば、必要な情報を読み取り、文章の展開、概要や要点などを把握する。 【思考力、判断力、表現力等】水族館や海洋生物、およびコウテイペンギンについて、一定の支援を活用すれば、多様な語句や文を用いて、情報や考えなどを詳しく話して伝え合うやり取りを続ける。 【学びに向かう力、人間性等】興味のある動物について、一定の支援を活用すれば、多様な語句や文を用いて、情報や考えなどを論理性に注意して詳しく話して伝える。	・教科書、副教材 ・小テスト ・英検英作文、面接模擬試験 ・一人1 台端末の活用	○	○	○	○					18
		【知識及び技能】コウテイペンギンの生態について、一定の支援を活用すれば、必要な情報を読み取り、文章の展開、概要や要点などを把握することができる。 【思考力、判断力、表現力等】水族館や海洋生物、およびコウテイペンギンについて、一定の支援を活用すれば、多様な語句や文を用いて、情報や考えなどを詳しく話して伝え合うやり取りを続けることができる。 【学びに向かう力、人間性等】興味のある動物について、一定の支援を活用すれば、多様な語句や文を用いて、情報や考えなどを論理性に注意して詳しく話して伝えることができる。								
定期考査		○	○							1
Lesson 3 Tokyo's Seven-minute Miracle 【知識及び技能】新幹線の清掃スタッフについて、一定の支援を活用すれば、必要な情報を読み取り、文章の展開、概要や要点などを把握する。 【思考力、判断力、表現力等】学校の清掃活動、および日本が誇る文化について、一定の支援を活用すれば、多様な語句や文を用いて、情報や考えなどを詳しく話して伝え合うやり取りを続ける。 【学びに向かう力、人間性等】日本が誇る文化について、一定の支援を活用すれば、多様な語句や文を用いて、情報や考えなどを論理性に注意して詳しく話して伝える。	・教科書、副教材 ・小テスト ・英検英作文、面接模擬試験 ・一人1 台端末の活用	○	○	○	○					20
		【知識及び技能】新幹線の清掃スタッフについて、一定の支援を活用すれば、必要な情報を読み取り、文章の展開、概要や要点などを把握することができる。 【思考力、判断力、表現力等】学校の清掃活動、および日本が誇る文化について、一定の支援を活用すれば、多様な語句や文を用いて、情報や考えなどを詳しく話して伝え合うやり取りを続けることができる。 【学びに向かう力、人間性等】日本が誇る文化について、一定の支援を活用すれば、多様な語句や文を用いて、情報や考えなどを論理性に注意して詳しく話して伝えることができる。								
定期考査		○	○							1

1 学期

武蔵丘 高等学校 令和8年度（2学年用） 教科 外国語 科目 論理・表現Ⅱ

教科： 外国語 科目： 論理・表現Ⅱ 単位数： 2 単位

対象学年組： 第 2 学年 1 組～ 8 組

使用教科書： (MAINSTREAM Logic and Expression II)

教科 外国語 の目標：

- 【知識及び技能】 外国語の音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどの理解を深めるとともに、これらの知識を、聞くこと、読むこと、話すこと、書くことによる実際のコミュニケーションにおいて、目的や場面、状況などに応じて適切に活用できる技能を身につけるようにする。
- 【思考力、判断力、表現力等】 コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、日常的な話題や社会的な話題について、外国語で情報や考えなどの概要や要点、詳細、話し手や書き手の意図などを的確に理解したり、これらを活用して適切に表現したり伝え合ったりすることができる力を養う。
- 【学びに向かう力、人間性等】 外国語の背景にある文化に対する理解を深め、聞き手、読み手、話し手、書き手に配慮しながら、主体的、自律的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとする態度を養う。

科目 論理・表現Ⅱ の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
外国語の学習を通じて、言語の働きや役割などを理解している。外国語の技能(話すこと、書くこと)について、実際のコミュニケーションにおいて、目的や場面、状況などに応じて適切に活用できる知識・技能を身につけている。	日常的な話題や社会的な話題について、英語を聞いたり読んだりして得られた情報や考えなどを活用しながら、話したり書いたりして情報や自分自身の考えなどを一定の支援があれば適切に表現することができる。	日常的な話題や社会的な話題について、英語を聞いたり読んだりして得られた情報や考えなどを活用しながら、話したり書いたりして情報や自分自身の考えなどを適切に表現しようとしている。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	領域					評価規準	知	思	態	配 当 時 数
		聞	読	話 〔 や 〕	話 〔 発 〕	書					
1 学 期	・文型、時制の用法を理解させる ・学習した文法事項を用いて様々な内容について表現させる ・自分のことを表現する姿勢を身につけさせる	・単元に関する話題について、話したり書いたりする ・新出単語、文法 ・自分のことを表現するために大切な語句や表現 ・一人1台端末の活用	○	○	○	○	○	○	○	○	5
	・仮定法の用法を理解させる ・学習した文法事項を用いて様々な内容について表現させる ・スピーチを表現する姿勢を身につけさせる	・単元に関する話題について、話したり書いたりする ・新出単語、文法 ・スピーチを表現するために大切な語句や表現 ・一人1台端末の活用	○	○	○	○	○	○	○	○	6
	定期考査							○	○		1
	・使役動詞、知覚動詞の用法を理解させる ・学習した文法事項を用いて様々な内容について表現させる ・プレゼンテーションをする姿勢を身につけさせる	・単元に関する話題について、話したり書いたりする ・新出単語、文法 ・プレゼンテーションを表現するために大切な語句や表現 ・一人1台端末の活用	○	○	○	○	○	○	○	○	6
	・受け身、比較の用法を理解させる ・学習した文法事項を用いて様々な内容について表現させる ・自分の考えや情報を表現する姿勢を身につけさせる	・単元に関する話題について、話したり書いたりする ・新出単語、文法 ・自分の考えや情報を表現するために大切な語句や表現 ・一人1台端末の活用	○	○	○	○	○	○	○	○	6
	定期考査							○	○		1
2 学 期	・動名詞の用法を理解させる ・学習した文法事項を用いて様々な内容について表現させる ・自分の意見を論理的に表現する姿勢を身につけさせる	・単元に関する話題について、話したり書いたりする ・新出単語、文法 ・自分の意見を論理的に表現するために大切な語句や表現 ・一人1台端末の活用	○	○	○	○	○	○	○	○	6
	・不定詞の用法を理解させる ・学習した文法事項を用いて様々な内容について表現させる ・ディスカッションの司会をする姿勢を身につけさせる	・単元に関する話題について、話したり書いたりする ・新出単語、文法 ・ディスカッションの司会をするために大切な語句や表現 ・一人1台端末の活用	○	○	○	○	○	○	○	○	6
	定期考査							○	○		1
	・分詞の用法を理解させる ・学習した文法事項を用いて様々な内容について表現させる ・ディベートをする姿勢を身につけさせる	・単元に関する話題について、話したり書いたりする ・新出単語、文法 ・ディベートをするために大切な語句や表現 ・一人1台端末の活用	○	○	○	○	○	○	○	○	7
	・助動詞の用法を理解させる ・学習した文法事項を用いて様々な内容について表現させる ・ディベートをする姿勢を身につけさせる	・単元に関する話題について、話したり書いたりする ・新出単語、文法 ・ディベートをするために大切な語句や表現 ・一人1台端末の活用	○	○	○	○	○	○	○	○	6
	定期考査							○	○		1

3 学 期	<ul style="list-style-type: none"> 関係詞の用法を理解させる 学習した文法事項を用いて様々な内容について表現させる 自分の意見を文章で表現する姿勢を身につけさせる 	<ul style="list-style-type: none"> 単元に関する話題について意見交換 新出単語、文法 自分の意見を表現するために大切な語句や表現 一人1台端末の活用 	○	○	○	○	○	<ul style="list-style-type: none"> 新出単語と文法項目を身につけている 単元に関する話題やそれに関連した話題について表現できる 授業中の活動や宿題などに、間違いを恐れずに取り組もうとしている 	○	○	○	9
	<ul style="list-style-type: none"> 名詞構文の用法を理解させる 学習した文法事項を用いて様々な内容について表現させる 自分の意見を文章で表現する姿勢を身につけさせる 	<ul style="list-style-type: none"> 単元に関する話題について意見交換 新出単語、文法 自分の意見を表現するために大切な語句や表現 一人1台端末の活用 	○	○	○	○	○	<ul style="list-style-type: none"> 新出単語と文法項目を身につけている 単元に関する話題やそれに関連した話題について表現できる 授業中の活動や宿題などに、間違いを恐れずに取り組もうとしている 	○	○	○	9
											合計	70

武蔵丘 高等学校 令和8年度（2学年用） 教科 家庭 科目 家庭基礎

教科： 家庭 科目： 家庭基礎 単位数： 2 単位

対象学年組： 第 2 学年 1 組～ 8 組

使用教科書：（ 新図説家庭基礎（実教出版） ）

教科 家庭 の目標：

【知識及び技能】1人の自立した人間として、生活的・精神的・経済的等の必要な知識や技能を身に着ける。

【思考力、判断力、表現力等】生活者としてその場に応じた状況等を考え、行動できる力を身に着ける。

【学びに向かう力、人間性等】主体的に授業に参加し、積極的に行動し、協働できる生徒を育成する。

科目 家庭基礎 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
大人になる前に知っておきたい生活上の知識や技術の会得を目指す。将来生活的自立、経済的自立ができる人間の育成を目指す。	高校生として必要な思考力や判断力を身につけ、大人になった時に精神的自立ができる人間を育成する。	何事にも興味を持って臨む姿勢を養うとともに、他者と協働する事の大切さを認識できる生徒の育成を目指す。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学 期	第1章「自分らしい生き方と家族その1」 【知識及び技能】 【思考力、判断力、表現力等】 【学びに向かう力、人間性等】	・指導事項 ・教材 教科書、資料集、PP教材 ・一人1台端末の活用 等	【知識・技能】 既習した事柄が理解できているか 【思考・判断・表現】 生徒が設問に対して自ら考えて発言をしているかどうか 【主体的に学習に取り組む態度】 毎回の振り返りシート等の記入、提出物の状況、授業に臨む姿勢等を総合的に判断する	○	○	○	6
	「被服製作…基礎縫いの学習とケース作製」 【知識及び技能】 手縫い、ミシン縫いの基本を学ぶ 【思考力、判断力、表現力等】 作品の特徴を考えた上で、正しく縫うために気を付ける事を自ら考え実践する。 【学びに向かう力、人間性等】	・指導事項 ・教材 教材セット一式、レシビ、教科書、資料集等 ・一人1台端末の活用 部分縫いの動画等	【知識・技能】 手縫い、ミシン縫い等の技術を身に着け、正しく製作できたかどうか 【思考・判断・表現】 なぜこのように作るのか等の疑問を持ちながら、それを自分で考えて作品に仕上げているか 【主体的に学習に取り組む態度】 毎時間主体的に取り組んでいるか、どのように工夫したか、レポートの作成が丁寧にできているか	○	○	○	8
	第1章「自分らしい生き方と家族その2」 【知識及び技能】 【思考力、判断力、表現力等】 【学びに向かう力、人間性等】	・指導事項 ・教材 教科書、資料集、PP教材 ・一人1台端末の活用 等	【知識・技能】 既習した事柄が理解できているか 【思考・判断・表現】 生徒が設問に対して自ら考えて発言をしているかどうか 【主体的に学習に取り組む態度】 毎回の振り返りシート等の記入、提出物の状況、授業に臨む姿勢等を総合的に判断する	○	○	○	6
	第6章「衣生活をつくる」 【知識及び技能】 【思考力、判断力、表現力等】 【学びに向かう力、人間性等】	・指導事項 ・教材 教科書、資料集、PP教材 ・一人1台端末の活用 等	【知識・技能】 既習した事柄が理解できているか 【思考・判断・表現】 生徒が設問に対して自ら考えて発言をしているかどうか 【主体的に学習に取り組む態度】 毎回の振り返りシート等の記入、提出物の状況、授業に臨む姿勢等を総合的に判断する	○	○	○	6
	定期考査			○	○		1
2 学 期 (9 月 ま で)	第2章「子どもとかわる」 【知識及び技能】 【思考力、判断力、表現力等】 【学びに向かう力、人間性等】	・指導事項 ・教材 教科書、資料集、PP教材 ・一人1台端末の活用 等	【知識・技能】 既習した事柄が理解できているか 【思考・判断・表現】 生徒が設問に対して自ら考えて発言をしているかどうか 【主体的に学習に取り組む態度】 毎回の振り返りシート等の記入、提出物の状況、授業に臨む姿勢等を総合的に判断する	○	○	○	6
	第7章「住生活をつくる」 【知識及び技能】 【思考力、判断力、表現力等】 【学びに向かう力、人間性等】	・指導事項 ・教材 教科書、資料集、PP教材 ・一人1台端末の活用 等	【知識・技能】 既習した事柄が理解できているか 【思考・判断・表現】 生徒が設問に対して自ら考えて発言をしているかどうか 【主体的に学習に取り組む態度】 毎回の振り返りシート等の記入、提出物の状況、授業に臨む姿勢等を総合的に判断する	○	○	○	2

2 3 学期	※生徒を入れ替えて、上記内容を行う。順番は「第2章」「第7章」「第1章」「第6章」となる。			○	○	○	35
							合計 70